



北信のシームレスながん医療を担う人材養成

NEXT GENERATION HOKUSHIN CANCER PROFESSIONAL ACTIVITY REPORTS

令和5年度 次世代北信がんプロ活動報告書



挨拶

文部科学省採択「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」
北信のシームレスながん医療を担う人材養成
次世代北信がんプロ 事業推進代表者 金沢大学長

和田 隆 志



文部科学省の「がんプロフェッショナル養成プラン」は、がん対策基本法が施行された2007年にはじまった、がんの専門医療人材を養成する事業です。

第1期（2007～2011年）・第2期（2012～2016年）では、富山大学、福井大学、金沢医科大学、石川県立看護大学及び本学が連携し、「北陸がんプロ」として、それぞれ「がんの均てん化」、「教育改革、研究者育成、地域連携」をテーマにがん医療の人材育成に取り組み、その実績が高く評価されました。第3期（2017～2021年）には、新たに信州大学が参画し、長野県にエリアを拡大し、「北信がんプロ」として活動いたしました。

第4期目の今回は、新たに長野県看護大学が加わり、信州大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学及び本学の6大学で、「次世代北信がんプロ」として、活動を推進してまいります。

北信地域は全国平均と比較し少子高齢化が進んでいます。また、診断から治療・終末期医療まで、全医療を居住地域で受ける患者さんが多いことが地域の特徴です。このため、第4期では「北信のシームレスながん医療を担う人材養成」というテーマを掲げています。診断から治療・終末期医療まで質の高い医療を患者さんの居住地域でシームレスに提供する多職種チーム医療人材を戦略的に養成します。

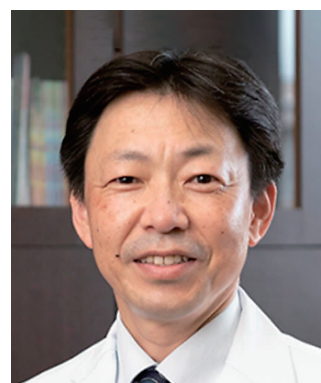
さらには、各大学の強みを統合した相互補完的教育コースとして正規課程15コース、インテンシブ10コースを立ち上げ、石川県、富山県、福井県、長野県全てのがん拠点病院、医師会、がんプロ履修者が設立した患者会等と連携し、地域のがん医療を担う人材の養成に努めてまいります。

コーディネーター 挨拶

次世代北信がんプロ統括コーディネーター

金沢大学 医薬保健研究域 医学系 呼吸器内科学 教授

矢野 聖二



文部科学省の「がんプロフェSSIONAL養成プラン」は、がん対策基本法が施行されました2007年にはじまった、がんの専門医療人材を養成する事業で、令和5年度から4期目が開始されました。1期目には「がんの均てん化」をテーマに全国18拠点／95大学が、2期目は2012年から、「教育改革、研究者育成、地域連携」をテーマに15拠点／100大学が、3期目は2017年から「多様な新ニーズに対応するがん専門医療人材養成」をテーマに、11拠点／80大学が取り組みを行いました。そして、今回の4期目は、「次世代のがんプロフェSSIONAL養成プラン」として、11拠点／76大学が取り組みをはじめました。

私たちのグループでは、1期・2期は北陸三県の金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、石川県立看護大学が連携し、5大学による「北陸がんプロ」として活動しました。3期目には新たに長野県の信州大学が参画し、活動を北陸・長野の北信地域に広げ、6大学による「北信がんプロ」として取り組みをしました。4期目の今回は、「次世代北信がんプロ」として、新たに長野県看護大学が参画し、金沢大学、信州大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学との6大学で活動しています。

令和5年3月に閣議決定された第4期がん対策推進基本計画では、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」を全体目標とし、「がん予防」、「がん医療」及び「がんとの共生」の分野別目標を定め、これらの3本柱を支える基盤整備のひとつとして、「人材育成の強化」を推進することとなりました。

第4期のがんプロには、①がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材、②がん予防の推進を行う人材、③新たな治療法を開発できる人材、等のがん専門医療人材の養成が求められております。

次世代北信がんプロでは、北信地域が全国平均と比較し15年以上進んだ超少子高齢化社会であり、診断から治療・終末期医療まで、全医療を居住地域で受ける患者が多いことを地域の特徴として捉え、今回は「北信のシームレスながん医療を担う人材養成」というテーマを掲げています。

本事業では、診断から治療・終末期医療まで質の高い医療を患者の居住地域でシームレスに提供する多職種チーム医療人材を戦略的に養成してまいります。令和6年4月から、大学院正規課程として15の教育コースが立ち上がります。また、社会人医療従事者が受講できるインテンシブコースも10コース立ち上げる予定です。いずれのコースでも、切れ目ないがん医療提供に必要な専門分野以外のがん医療分野の最新情報を学修できるe-learningやWEBによるセミナーを受講することができます。インテンシブコースは受講登録をすれば無料で受講できますので、自己研鑽・生涯教育の一環として活用していただければと存じます。

次世代北信がんプロでは、地域がん医療を支えるがん医療人の養成に努めてまいりますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

富山大学附属病院 臨床腫瘍部 教授
総合がんセンター長

林 龍 二



次世代北信がんプロ：富山大学の役割

富山大学開設大学院正規課程コース

「がんチーム医療実践コース」医学部

「腫瘍循環器学コース」医学部

「がん治療において地域医療に貢献できる薬剤師および新規がん治療薬開発研究者養成コース」薬学部

富山大学では上記3つのコースを設置しています。これは「がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材の養成」を目指すために今回の次世代がんプロ事業開始に当たり新たに設置しました。次世代北信がんプロのテーマである「シームレスながん医療」にまさに直結する課題で、様々な患者さんの多様なニーズに対応することを目的としています。個々の患者さんの求めに応じるためには従来の医師のみによる診療だけではなく看護師、薬剤師はもちろんのこと、ソーシャルワーカーや地域のケアマネージャーなど多職種と共同したチーム医療の構築が何より大切となります。このため富山大学では「がんチーム医療実践コース」を設置し、シームレスな診療を担う人材を養成します。

また、新たな学際領域として「腫瘍循環器病学」が注目を集めています。

富山大学では今まではあまりがん診療とは縁がないように思われていた循環器科との共同により「腫瘍循環器コース」を立ち上げました。循環器学とは主に心不全、高血圧などの動脈硬化症、血管内で血の塊ができる血栓塞栓症などを専門に扱います。こうした疾患は実はがんに罹患した患者で高率に発症することが知られており、両者合併例を連携して診療することがとても大切です。それぞれの専門家が連携して、専門だけに偏らない人材育成を目指します。

さらに、主に薬学を専攻する受講者を中心として「がん治療において地域医療に貢献できる薬剤師および新規がん治療薬開発研究者養成コース」を設置し、地域薬局に対応し、新規治療にも貢献できる人材を養成します。

このように時代の流れとともに変わる必要性を的確にとらえて、そこに対応する高度人材を養成することががんプロ事業であり、特に富山大学では北信地域で必要とされる人材を養成することを目指してまいります。

5年後、10年後には皆様のお役に立つ高度人材が北信地区のがん診療を支えてくれることを願っております。

福井大学医学部附属病院
がん診療推進センター
センター長・診療教授

廣野 靖夫



4期目が始まるがんプロフェッショナル養成プラン（がんプロ）において、福井大学は2007年の第1期の開始からずっと地域との連携や在宅医療を重視してきました。がん治療において切れ目のない医療やケアを行うことで治療の継続性や患者・家族のQOLが向上すると考えられます。

3期でも地域がん専門医コースや在宅栄養管理コース・在宅緩和医療コースを設置し、トータルケアを重視して様々な活動を行ってきました。今期の次世代のがんプロフェッショナル養成プランにあたって、北信がんプロでは「シームレスながん医療を担う人材養成」を目標に掲げました。がん医療は専門化・細分化が進んでおり、施設や職種を超えた連携が必要になってきています。

福井大学は本科生コースとして「統合型がん医療専門医コース」、インテンシブコースとして「シームレス型緩和医療コース」「シームレス型栄養管理コース」を開設します。診療科横断的な幅広い知識を持つ専門医の育成とがん医療の基礎の部分となる緩和ケアや栄養管理も習得した医療人の育成を主眼としていきます。これらのコースでは次世代のがん専門医を育成するのはもちろん、多職種の手でがん医療を進めていくために教育活動を行っていきます。

その内容も最新の診断から治療、さらに終末期医療まで質の高い医療がシームレスで提供できるように、幅広い知識を習得してもらう予定です。そのために新たなe-learningを提供します。また、3期まで行ってきましたオンコロジーセミナー、福井大学独自の看護セミナー、大学内だけでなく地域の医療者も含めたがん医療に関する様々な内容のセミナー、新しいがん治療の流れを県内の医療機関や一般市民の方に伝えるための公開講座の開催やオンデマンド配信、がん医療情報冊子の作成・配布等も引き続き行う予定です。大学間での共同企画も考えております。

福井大学が以前から力を入れてきました教育学部でのがん教育の講義や県内教職員向けがん教育教材の提供も引き続き充実させます。北信地区全体で協力しつつ、次世代の医療人の育成に努め、地域全体のレベルアップを図ってまいりますので、皆様よろしくお願いたします。

金沢医科大学医学部腫瘍内科学 教授
金沢医科大学病院腫瘍内科長

安 本 和 生



第4期がんプロ（次世代北信がんプロ）スタートにあたって

文部科学省が進めるがんプロフェッショナル養成プラン（「がんプロ」）も次世代の第4期（6年間）が計画され、金沢大を拠点とする北信エリアの富山大、福井大、信州大、長野県看護大と当学の総勢6大学が連携した「北信がんプロ」として採択されたことは大変喜ばしい限りである。今回次世代北信がんプロの目指すテーマは、「北信地域のシームレスながん医療を担う人材の養成」とされ、2023年9月キックオフミーティングを機に無事スタートをきった。

本4期がんプロの主なテーマは3つ。①がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材養成、②がん予防の推進を行う人材養成、③新たな治療法を開発できる人材養成である。国はこのがんプロ事業を通して「地域完結型医療」を推進目標としている。当院は、地域がん診療連携病院として県の指定を受け、過疎化・少子化・高齢化が進む遠隔地の能登地区（中能登・北部能登エリア）をおもに担当しており、まさに不足顕在化する様々な医療課題が存在する。

当学はテーマ①の「がん医療の現場で顕在化する専門人材の不在に対応する人材の育成」を目指す。本プロジェクトを通して質の高いがん医療者の育成を図り、地域医療にシームレスで安心と信頼を届けられる全人的個別化医療の実現可能な人材の養成」を目標として掲げる。

すなわち、すべての患者や家族が安心して診断から治療さらには看取りに至るまで医療全体にわたり、個々の腫瘍特性から社会的背景までも考慮に入れた満足感のえられる最適な質の高い医療を提供できる人材を養成する。知識と経験、相互連携による柔軟な相互補完的教育による本次世代北信がんプロ人材養成プロジェクトから、次世代医療の担い手となる“真の医療人”をひとりでも多く輩出できることを切に願っている。

信州大学医学部小児医学教室 教授

信州大学遺伝子・細胞治療研究開発センター センター長

中 沢 洋 三



信州大学の事業推進プロジェクトリーダーを務めさせていただく中沢と申します。前回の第3期北信がんプロでは、「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」というテーマのもと、北信4県（石川県、富山県、福井県、長野県）の小児・AYA（思春期・若年成人）世代のがん患者の疫学調査とがんプロ大学院生の教育を担当させていただきました。その成果として、北信4県の小児がん・AYA世代のがん診療の実態を迅速かつ的確にお伝えできるデータベースを構築することができました。

今後も引き続き、北信4県の最新の小児がん・AYA世代がん情報を医療者および県民の皆様にお届けしていきたいと考えております。

さて、今回の第4期北信がんプロでは、「北信のシームレスながん医療を担う人材養成」をテーマに、①がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材、②がん予防の推進を行う人材、③新たな治療法を開発できる人材を養成することになりました。

②に関しては、偶発的に遺伝性腫瘍の素因が発見された患者・家族のケアとサーベイランスを担う人材と、希少がん患者・遺伝性がん患者・小児がん経験者に対する二次がん予防の継続的なサポートを行う人材の養成が急務です。そこで、信州大学では大学院院修士課程に「シームレス型がん予防推進認定遺伝カウンセラー養成コース」を設置し、小児・AYA世代から高齢者まで世代を超えて、個別化予防～がんゲノム医療～遺伝性腫瘍～緩和ケアまでシームレスに見通した上でがん予防を推進できる認定遺伝カウンセラーを養成したいと考えております。

③に関しては、免疫チェックポイント阻害薬による免疫療法が奏功しない患者やがん遺伝子パネル検査に基づいた分子標的治療が適応とならない患者に対する新規がん免疫療法を開発できる人材の養成が期待されています。そこで、信州大学では大学院院博士課程に「遺伝子・細胞治療研究者養成コース」を設置し、CAR-T細胞療法などのがん免疫療法・遺伝子治療を理解し実践できる医療人材、新規の遺伝子・細胞治療を研究開発できる基礎・臨床研究医、再生医療等製品の臨床開発に精通した創薬研究者を養成したいと考えております（遺伝子治療認定医・認定技術士）。

これらのがん医療人材を養成することによって、北信4県のがん医療の発展に尽力したいと考えております。何卒宜しくお願いいたします。

長野県看護大学
看護学研究科 成人看護学

柳原清子



長野県看護大学は、「次世代北信がんプロ」第4期から参加させていただきます。北信がんプロ6校の中で唯一の看護の単科大学であり、がん看護専門看護師（がんCNS）の育成を行っています。

北信がんプロのテーマは、「北信のシームレスながん医療を担う人材養成」にあります。このシームレスには、3つの視座が含まれています。1つ目は、地域包括ケア時代の医療機関－在宅ケアの継続性での場の連携（システム）、2つ目はがん患者・家族の発達段階を踏まえての包括的支援（看護の学術性）、3つ目はがん高度医療における専門職間の連携（IPW）です。

本学は長野県の大学であり、県のがん対策推進条例に則り、信州大学やがん診療連携拠点病院と連携してシームレスに活動しています。具体的には、北信がんプロ研修事業や公開講座を通して、がん患者・家族のための「ケア技術開発」や「支援システム開発」を今後も行っていきます。同時に地域の看護専門職支援として、『がん看護アドバンス研修』を計画し、幅広い看護師を対象とした研修をインテンシブコースとして開設しています。

さて専門である「がん看護学」では、大学院におけるがん看護専門看護師の教育と並行して、小児・AYA世代から高齢者までの幅広い年代でのライフサイクルを意識した、緩和ケアの教育/研修およびeラーニング教材の開発を行っています。

また、がん高度医療における専門職間連携の推進では、インテンシブコース『IPW緩和ケアコース：多職種協働事例検討』を連続プログラムで行っています。IPW（Interprofessional Work）とは、複数の領域の専門職者が各々の技術と役割をもとに、共通の目標を目指す協働のことで、WHOで推奨されている活動です。

以上の「北信のシームレスながん医療を担う人材養成」を長野県看護大学は担っていく所存です。皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

第1部 事業について

事業概要	2
事業課題と対策	3
事業目標	5
事業体制	7

第2部 事業活動報告

1. 行事一覧(2023年7月～2024年3月)	8
2. 各種セミナー開催実績(2023年7月～2024年3月)	
オンコロジーセミナー	9
多職種協働事例検討会	10
市民・県民公開講座	11
国際シンポジウム	17
技術研修会・FD講演会	18
次世代北信がんプロ学長連絡協議会・キックオフシンポジウム	19
3. 広報活動	
次世代北信がんプロHP制作	21
紙面掲載	22
4. 参加者アンケート調査結果	23

第3部 外部評価

外部評価実績報告

外部評価手順	30
次世代北信がんプロ外部評価委員名簿	31
外部評価結果	32

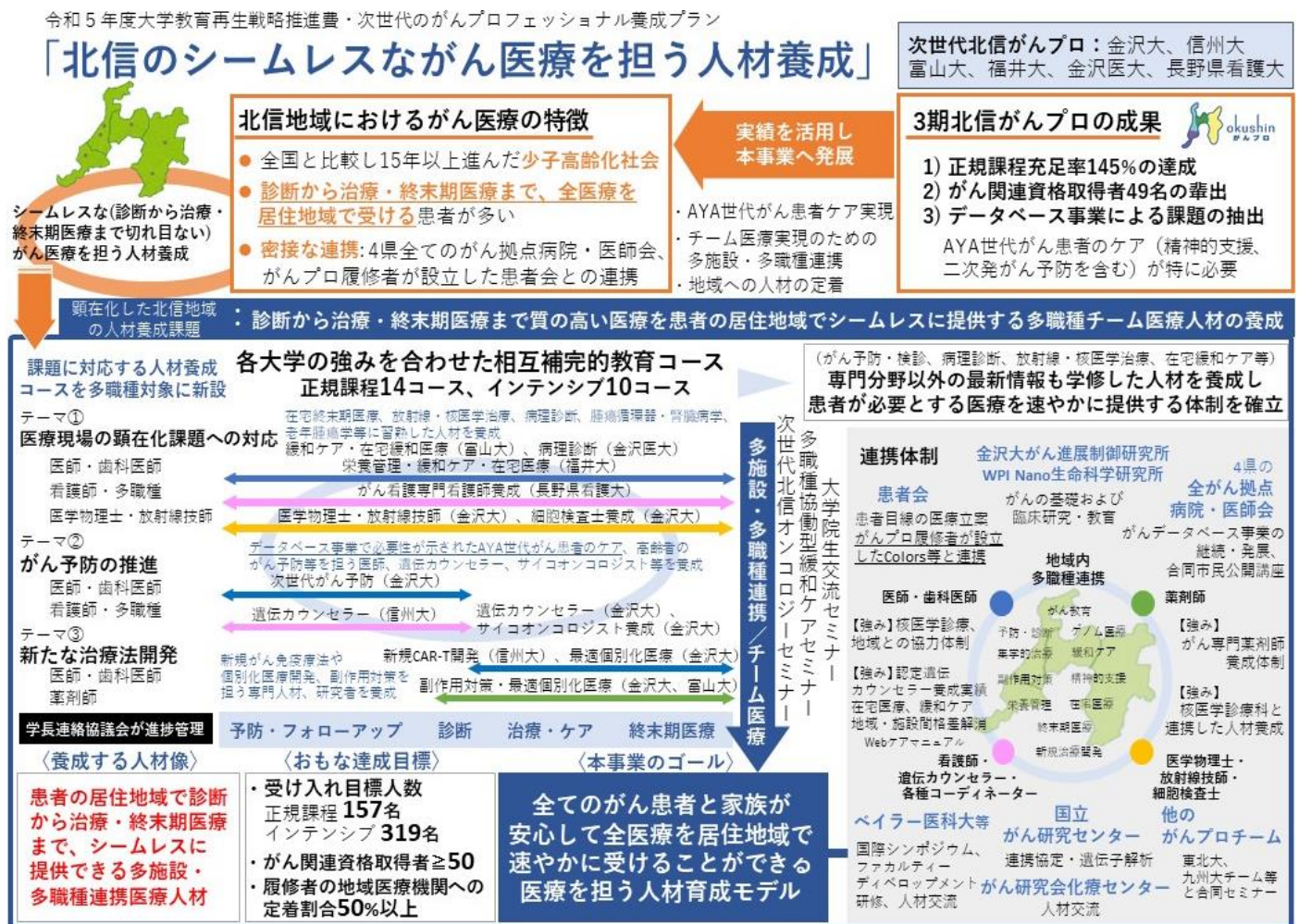
第1部 事業について

事業概要

長野、富山、石川、福井の4県は、超少子高齢化に加え診断から治療・終末期医療まで全医療を居住地域で受けるがん患者が多い特徴がある。本事業（次世代北信がんプロ）は、診断から治療・終末期医療まで質の高い医療を地域でシームレスに行う多施設・多職種連携医療人材を養成する。

連携6大学が強みを合わせた相互補完的教育コース（正規課程15、インテンシブ10）を新設し、切れ目ないがん医療提供に必要な専門分野以外のがん医療分野の最新情報も学修したがん予防、病理診断、放射線・核医学治療、在宅緩和ケア等を担う人材、3期事業で必要性が示された小児・AYA世代がん経験者を支援する遺伝カウンセラーや腫瘍臨床心理士、新規免疫療法開発や個別化医療に必要なゲノム創薬・副作用対策を担う人材を養成する。オンライン教育や演習・講演会で多職種地域内連携を推進し、将来さらに少子高齢化が進む日本の地域がん医療の人材養成モデルを確立する。

【事業の概要図】



事業課題と対策

テーマ①：がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材養成

3期北信がんプロ（金沢大、信州大、富山大、福井大、金沢医大、石川看護大）では、全国平均より少子高齢化が進む北信地域と名付けた長野、富山、石川、福井の4県で活躍できる先進的がん医療人の養成を目指し、正規課程充足率145%を達成し49名のがん関連資格取得者を輩出した。これらの活動を通じ、北信地域は超少子高齢化に加え、多くのがん患者が居住地・勤務地域を中心とする医療圏で診断から治療・終末期医療までの全医療を受けるといった特徴を有することが把握され、診断から治療・終末期医療まで質の高い医療を居住地でシームレスに（切れ目なく）患者に提供する多職種チーム医療人材の養成が課題であることが顕在化した。地域内医療連携不足があれば、診断・治療開始の遅れや在宅医療への移行の遅れ等により、がん患者が不利益を被る可能性がある。本事業では、北陸新幹線沿線で交流が可能な長野、富山、石川、福井の4県6大学が連携し、次世代北信がんプロとして、自分の専門領域以外のがん医療分野の最新情報も学んだ医療従事者を養成することにより、診断から治療・終末期医療まで患者が必要とする医療を速やかに提供できる体制を確立し、がん患者と家族が居住地で安心して医療を受けられる環境の整備と人材育成モデル確立を目指す。具体的には、がん予防・検診、画像診断、病理診断、標準的治療、副作用対策、早期からの緩和ケア、在宅医療を含む終末期医療に至るまでの最新情報を学修できるe-learning教材を6大学が連携して作成（がんプロオンライン教育に参加）する。

また、3期事業で確立したWeb会議システムを活用した双方向性の研修会や演習（オンコロジーセミナー、多職種協働型緩和ケアセミナー）を行う。これらを連携6大学の大学院生や地域の医療従事者が受講することで、多職種連携・施設間連携の意識を涵養する。テーマ①では、在宅医療や身体的・精神的・社会的な痛みのケアに対するがん患者・家族からのニーズが高く、診断時からの緩和ケアの実施に加え在宅終末期医療の提供率の向上が課題である。また、金沢大には核医学診療科があり核医学診療を担う人材は多いが、地域に放射線治療医や病理医は少なく、腫瘍循環器学や腫瘍腎臓病学、老年腫瘍学を専門とする医療従事者も少ない。

これらの課題に対し、富山大と福井大、金沢医大がそれぞれ緩和ケア、在宅医療、病理診断に習熟した医師・歯科医師を、長野県看護大が小児から高齢者まで対応できるがん看護専門看護師(CNS)を養成する正規コースを新設する。金沢大に医学物理士・放射線技師等、細胞検査士の正規コースをそれぞれ新設し、病理診断や放射線治療の質向上に必要な人材を養成する。それ以外の専門医の志望者が少なく個々の教育コース新設は困難なため、金沢大・富山大・福井大・金沢医大にこれら課題を包括的に学修できるインテンシブコースを新設し、放射線治療や病理診断、腫瘍循環器・腎臓病学、老年腫瘍学に習熟した人材を養成し、北信地域の上記医療レベルを底上げする。

テーマ②：がん予防の推進を行う人材養成

全国より高齢化が進んでいる北信4県では特に高齢者ががん患者が多く、平成27～29年にがん死亡者数がピークとなるも未だ減少には転じていないため、非高齢者に加え高齢者のがん予防も行う、次世代型がん予防を担う人材養成が課題である。がんゲノム医療拠点病院に指定されている金沢大、信州大、富山大では令和5年3月末までにエキスパートパネルを361回（1530症例、延べ9439名が参加）開催し、がんゲノム医療に携わる人材の教育を行ってきた。一方で、二次的所見が得られた患者へのケアやその家族に対するサーベイランスを担う遺伝医療の専門医、認定遺伝カウンセラーのニーズが高まり、北信地域に定着して遺伝医療を担う人材の不足が課題となっている。さらに、3期の北信がんプロにおけるがんデータベース事業では、北信4県の小児・AYA世代がんの診療実態が明らかとなり（Okura E et al, Jpn J Clin Oncol. 2022）、希少がん患者・遺伝性がん患者・小児がん経験者に対する二次がん予防や就学・就労・メンタルヘルスに対する継続的なサポートがAYA世代における喫緊の課題であることが浮き彫りになった。テーマ②では、金沢大が次世代型個別化がん予防医療の医師・歯科医師向け正規コースを新設し、マルチオミックス解析とビッグデータを活用し、がんの0次予防を実践できる人材を養成する。また、信州大と金沢大が、認定遺伝カウンセラーを養成する正規コースを新設し、小児・AYA世代から高齢者まで世代を超えて、個別化予防～がんゲノム医療～遺伝性腫瘍～緩和ケアまでシームレスに見通した上でがん予防を推進できる人材を養成する。さらに、金沢大にがん経験者の精神的支援を担うサイコオンコロジスト（腫瘍臨床心理士）を養成する正規コースを新設する。インテンシブコースとして、信州大に臨床遺伝専門医を、金沢大に心理社会的ケアを担う看護師を養成するコースを新設する。

テーマ③：新たな治療法を開発できる人材の養成

近年、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）による免疫療法や遺伝子解析に基づいた分子標的治療により一定割合のがん患者の予後は改善されたが、ICIが奏効しない症例や分子標的治療が適応とならない患者も多く、新規分子標的の同定および新規がん免疫療法の開発が課題である。一方で、重篤な副作用が発生しICIや分子標的治療を継続できない症例も存在するため、副作用対策や副作用予防も課題となっている。よって、新規免疫療法や分子標的療法の開発および副作用対策によるより良い個別化医療を担える人材の養成が必要である。

テーマ③では、信州大に遺伝子・細胞治療研究者の正規コースを新設し、新規CAR-T療法の研究開発を通じて、がん免疫療法・遺伝子治療に精通した創薬人材および日本遺伝子細胞治療学会認定医・認定技術士を養成する。CAR-T細胞シーズの探索研究に加えて、がんの基礎研究者・創薬ベンチャー・リサーチアドミニストレーターによる講義・演習や米国ベイラー医科大学との人材交流も積極的に取り入れ、リサーチマインドを持つ臨床研究医・医療従事者並びに国際競争力の高い創薬研究者の養成に取り組む。また、金沢大にがん個別化医療開発コースを新設し、ICIによる免疫療法や分子標的薬の耐性克服研究を通じて、最適の個別化医療を開発する基礎・臨床研究医を養成する。さらに、富山大と金沢大ががん専門薬剤師の正規コースを新設し、ICIやCAR-Tなどの免疫療法および分子標的治療における副作用対応や副作用予防に精通したがん専門薬剤師や個別化医療の開発研究を担う薬剤師を養成する。

事業目標

1. 教育コースの立ち上げ時期

大学院正規課程（令和6年4月）、インテンシブ（主に令和5年11月）

2. 教育コースの実施数

大学院正規課程（15コース）、インテンシブ（10コース）

3. 教育コースの履修者数・修了者数

大学院正規課程コース

大学名	大学院正規課程 コース名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
金沢大学	次世代がん予防エキスパート養成コース		3	3	3	3	3	15
	がん個別化医療開発コース		4	4	4	4	4	20
	がん薬物療法ファーマシスト サイエンティストコース		1	2	2	2	2	9
	次世代認定遺伝カウンセラー養成コース		2	2	2	2	2	10
	サイコオネコロジストコース		2	1	2	1	2	8
	包括的な放射線診療を見据えた 医学物理士コース		5	5	5	5	5	25
	細胞検査士資格取得コース		3	3	3	3	3	15
信州大学	遺伝子・細胞治療研究者養成コース		2	2	2	2	2	10
	シームレス型がん予防推進 認定遺伝カウンセラー養成コース		1	1	1	1	1	5
富山大学	がん患者チーム医療修得コース		2	2	2	2	2	10
	腫瘍循環器学コース		1	1	1	1	1	5
	がん治療において地域医療に貢献できる 薬剤師および新規がん治療薬開発研究者 養成コース		1	1	1	1	1	5
福井大学	統合型がん医療専門医コース		2	2	2	2	2	10
金沢医科大学	がん遺伝子に基づく個別化医療を担う がん専門医療人養成コース		1	1	1	1	1	5
長野県看護大学	ライフステージと共生の包括ケアコース		2	2	2	2	2	10
受入合計人数			32	32	33	32	33	162

インテンシブコース

大学名	インテンシブコース名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
金沢大学	包括的がん治療医養成コース	2	6	6	6	6	6	32
	次世代がん薬物療法最適化 薬剤師コース		1	2	3	3	3	12
	サイコオンコロジーナーシングコース		2	1	2	1	2	8
信州大学	シームレス型がん予防推進臨床 遺伝専門医養成コース	1	1	1	1	1	1	6
富山大学	がんチーム医療実践コース	1	2	2	2	2	2	11
	がん治療において地域・チーム医療の 要となる薬剤師養成コース	1	2	2	2	2	2	11
福井大学	シームレス型緩和医療コース	2	12	12	12	12	12	62
	シームレス型栄養管理コース	2	12	12	12	12	12	62
金沢医科大学	分子病理の視点からゲノム個別化医療 を推進するがん専門医療人養成コース		1	1	1	1	1	5
長野県看護大学	IPW 包括的緩和ケアコース	10	20	20	20	20	20	110
受入合計人数		19	59	59	61	60	61	319

4. 事業予定（シンポジウム・セミナー等）

【2023 年度】

オンコロジーセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）3 回 50 名/回

多職種協働型緩和ケアセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）3 回 50 名/回

合同市民公開講座（6 大学）1 回 200 名

【2024 年度】

オンコロジーセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）6 回 50 名/回

多職種協働型緩和ケアセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）6 回 50 名/回

合同市民公開講座（6 大学）1 回 200 名

大学院生交流セミナー（6 大学）1 回 30 名

他がんプロとの合同シンポジウム（12 大学）1 回 80 名

【2025 年度】

オンコロジーセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）6 回 50 名/回

多職種協働型緩和ケアセミナー（6 大学と 24 がん拠点病院等）6 回 50 名/回

合同市民公開講座（6 大学）1 回 200 名

大学院生交流セミナー（6 大学）1 回 30 名

国際シンポジウム（10 大学）1 回 100 名

【2026年度】

オンコロジーセミナー（6大学と24がん拠点病院等）6回 50名/回
多職種協働型緩和ケアセミナー（6大学と24がん拠点病院等）6回 50名/回
合同市民公開講座（6大学）1回 200名
大学院生交流セミナー（6大学）1回 30名
他がんプロとの合同シンポジウム（16大学）1回 100名

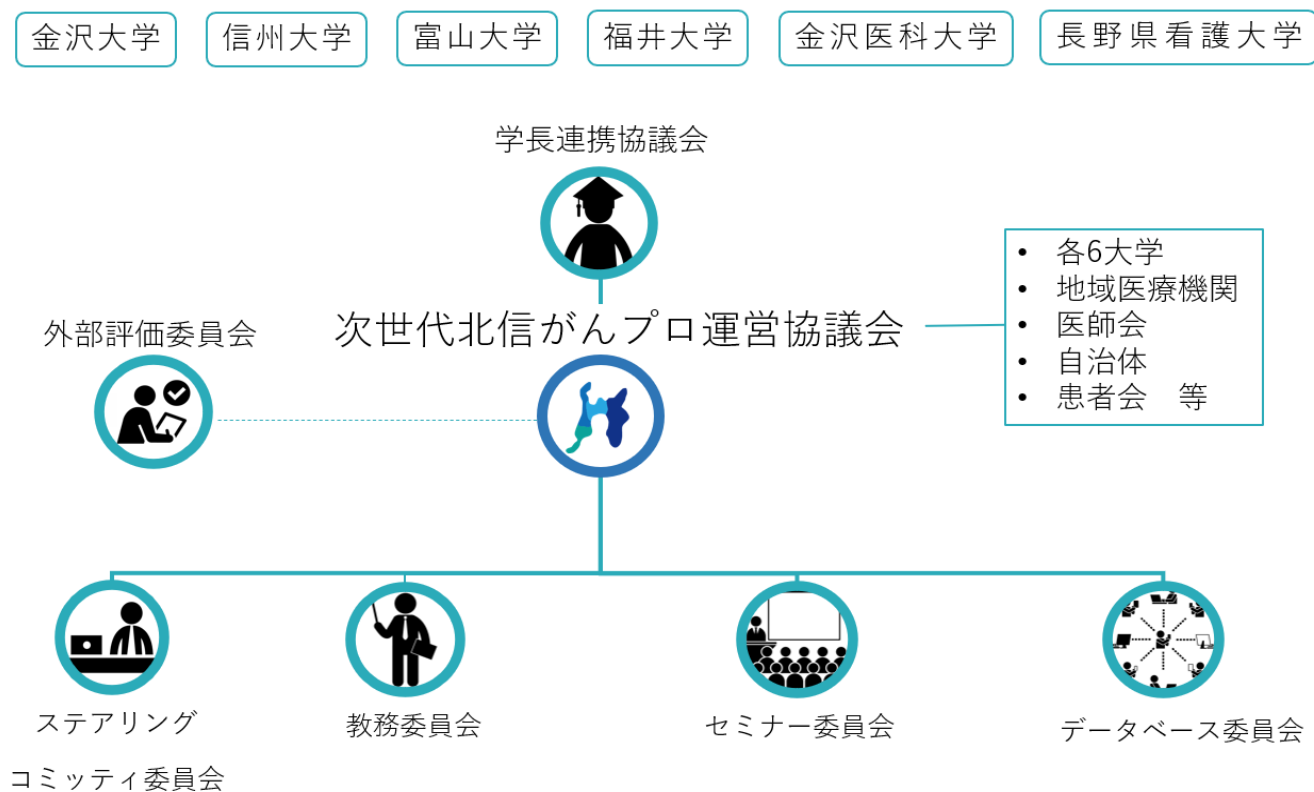
【2027年度】

オンコロジーセミナー（6大学と24がん拠点病院等）6回 50名/回
多職種協働型緩和ケアセミナー（6大学と24がん拠点病院等）6回 50名/回
合同市民公開講座（6大学）1回 200名
大学院生交流セミナー（6大学）1回 30名
他がんプロとの合同シンポジウム（16大学）1回 100名

【2028年度】

オンコロジーセミナー（6大学と24がん拠点病院等）6回 50名/回
多職種協働型緩和ケアセミナー（6大学と24がん拠点病院等）6回 50名/回
合同市民公開講座（6大学）1回 200名
大学院生交流セミナー（6大学）1回 30名
他がんプロとの合同シンポジウム（16大学）1回 100名

事業体制



第2部 事業活動報告

1. 行事一覧 (2023年7月～2024年3月)

日	行事概要	主催大学
2023年7月	次世代北信がんプロ事業始動 (第4期)	6大学
2023年9月3日	市民公開講座「がんゲノム医療って何だろう？」	富山大学
2023年9月24日	次世代北信がんプロ学長連絡協議会・キックオフシンポジウム	金沢大学
2023年11月3日	県民公開講座「がん診療最前線」次世代のがん治療が始まる	福井大学
2023年11月18日	第1回 IPW 緩和ケアコース：多職種協働事例検討	長野県看護大学
2023年11月19日	市民公開講座「膵臓がん・胆道がんを知ろう！」	富山大学
2023年11月26日	市民公開講座「乳がんと向き合うライフスタイル」	富山大学
2023年11月27日	看護セミナー 「看護師が対応に苦慮する終末期がん患者の症状とマネジメント」	福井大学
2023年11月29日	第1回 オンコロジーセミナー	金沢大学
2023年12月2日	市民公開講座「地域で支えるがん医療」	富山大学
2023年12月 7日・8日・9日	がん看護アドバンス研修 (3日間)	長野県看護大学
2023年12月16日	第2回 IPW 緩和ケアコース：多職種協働事例検討	長野県看護大学
2023年12月17日	緩和ケア市民公開講座	富山大学
2023年12月19日	第1回 教務委員会 (E-learning 教材進捗報告)	6大学
2024年1月13日	第3回 IPW 緩和ケアコース：多職種協働事例検討	長野県看護大学
2024年1月14日	市民公開講座「膵臓がん・胆道がんを知ろう！」	富山大学
2024年1月25日	第2回 オンコロジーセミナー	信州大学
2024年2月4日	第48回 金沢がん哲学外来オンライン講演会	金沢大学(共催)
2024年2月10日	第4回 IPW 緩和ケアコース：多職種協働事例検討	長野県看護大学
2024年2月29日	FD講演会	金沢医科大学
2024年3月1日	富山大学キックオフミーティング	富山大学
2024年3月5日	第2回 教務委員会 (E-learning 教材の進捗報告)	6大学
2024年3月7日	第3回 オンコロジーセミナー	富山大学
2024年3月10日	市民公開講座	金沢医科大学
2024年3月15日	がん医療スキルアップセミナー	福井大学
2024年3月18日	第1回 国際シンポジウム	金沢大学
2024年3月19日	第2回 国際シンポジウム	金沢大学
2024年3月20日	第1回 市民公開講座	金沢大学

2. 各種セミナー開催実績（2023年7月～2024年3月）

オンコロジーセミナー

次世代北信がんプロ 第1回オンコロジーセミナー

開催日時: 2023.11.29 Wed
18:00-19:30 (ZOOMによるオンライン開催)

特別講演
「腸肝臓癌に対するCAR-T細胞療法の実用化と臨床応用」
中野 雅之 先生

申し込みフォーム: <https://forms.gle/3180000125>

2023年11月29日（水）18：00開催

主催大学：金沢大学

会場：WEB配信（オンラインのみ）

全体参加者：87名

次世代北信がんプロ 第2回オンコロジーセミナー

開催日時: 2024.1.25 Thu
18:00-19:30 (ZOOMによるオンライン開催)

特別講演
「腸肝臓癌に対するCAR-T細胞療法の実用化と臨床応用」
中野 雅之 先生

申し込みフォーム: <https://forms.gle/3180000125>

2024年1月25日（木）18：00開催

主催大学：信州大学

会場：WEB配信（オンラインのみ）

全体参加者：96名

Oncology Seminar 第3回

開催日時: 2024.3.7 Thu
18:00-19:30 (ZOOMによるオンライン開催)

講演
「がん治療から緩和ケア時の
栄養学的アプローチについて」
吉田 明浩 先生

特別講演
「膵・消化管神経内分泌腫瘍の
病理診断と分子異常」
平林 健一 先生

申し込みフォーム: <https://forms.gle/3180000125>

2024年3月7日（木）18：00開催

主催大学：富山大学

会場：WEB配信（オンラインのみ）

全体参加人数：70名

多職種協働事例検討会

次世代北信がんプロ
次世代のがんプロフェッショナル養成プラン
IPW緩和ケアコース：
多職種協働事例検討
長野県看護大学オンライン研修

日時 2023年11月18日(土) 13:00-16:00
/12.16/1.13/2.10(全4回)

会場 オンライン (ZOOM) 対象 医師・看護師・MSW・セラピスト・薬剤師など

申込 ホームページの「受講者の方へ」からお申し込みください
<https://www.nagano-ganpro.jp/index.html>
申込みフォーム印刷用紙を、印刷用紙をダウンロードして入力してください。

第1回 11.18(土) 倫理シナリオ
ATL患者の治療の拒否

第2回 12.16(土) 多職種家族
一人親家庭の親が終末期子どもに病気の話をしていない

第3回 1.13(土) ACP
超高齢者(90代)への積極的ケモ治療

第4回 2.10(土) コンフリクト
BSCを理解せず 我儘の要求の患者家族

申し込み先 <https://www.nagano-ganpro.jp/>

第1回 2023年11月3日(金) 13:30 開催

主催大学：長野県看護大学

会場：WEB 配信(オンラインのみ)

全体参加人数：24名

次世代北信がんプロ
次世代のがんプロフェッショナル養成プラン
IPW緩和ケアコース：
多職種協働事例検討
長野県看護大学オンライン研修

日時 2023年12月16日(土) 13:00-16:00
/11.18(土)/1.13/2.10(全4回)

会場 オンライン (ZOOM) 対象 医師・看護師・MSW・セラピスト・薬剤師など

申込 ホームページの「受講者の方へ」からお申し込みください
<https://www.nagano-ganpro.jp/index.html>
申込みフォーム印刷用紙を、印刷用紙をダウンロードして入力してください。

第2回 12.16(土) 多職種家族
一人親家庭の親が終末期子どもに病気の話をしていない

第1回 11.18(土) 倫理シナリオ
ATL患者の治療の拒否

第3回 1.13(土) ACP
超高齢者(90代)への積極的ケモ治療

第4回 2.10(土) コンフリクト
BSCを理解せず 我儘の要求の患者家族

第2回 2023年12月16日(土) 13:00 開催

主催大学：長野県看護大学

会場：WEB 配信(オンラインのみ)

全体参加人数：18名

次世代北信がんプロ
次世代のがんプロフェッショナル養成プラン
IPW緩和ケアコース：
多職種協働事例検討
長野県看護大学オンライン研修

日時 2024年1月13日(土) 13:00-16:00
/11.18/12.16/2.10(全4回)
(土) / (土)

会場 オンライン (ZOOM) 対象 医師・看護師・MSW・セラピスト・薬剤師など

申込 ホームページの「受講者の方へ」からお申し込みください
<https://www.nagano-ganpro.jp/index.html>
申込みフォーム印刷用紙を、印刷用紙をダウンロードして入力してください。

第3回 1.13(土) ACPと医療倫理
認知症高齢者への積極的ケモ治療 家族の治療希望もあって…

※このセッションは、ACP(人生のケア計画)を定める意思決定の補助がとれていなくても大丈夫です。
※医療倫理の判断はどのようになっていますか？
※このセッションは、一人親・北信がんプロ(伊豆保健医療センター)が主催しています。

第3回 2024年1月13日(土) 13:00 開催

主催大学：長野県看護大学

会場：WEB 配信(オンラインのみ)

全体参加人数：29名

次世代北信がんプロ
次世代のがんプロフェッショナル養成プラン
IPW緩和ケアコース：
多職種協働事例検討
長野県看護大学オンライン研修

日時 2024年2月10日(土) 13:00-16:00
/11.18/12.16/1.13(全4回)
(土) / (土) / (土)

会場 オンライン (ZOOM) 対象 医師・看護師・MSW・セラピスト・薬剤師など

申込 ホームページの「受講者の方へ」からお申し込みください
<https://www.nagano-ganpro.jp/index.html>
申込みフォーム印刷用紙を、印刷用紙をダウンロードして入力してください。

第3回 2.10(土) BSCとコンフリクト
BSC(緩和治療の終了)を受け入れられず、我儘の主張の患者と家族

※がん治療でもっともコンフリクト(患者-医療者間での意見、価値観の衝突)が起きるのは、BSCを受け入れる、何が最善なのか？
緩和ケアを望んでいる病状：“苦痛が切りとしてあらわれる時”

第4回 2024年2月10日(土) 13:00 開催

主催大学：長野県看護大学

会場：WEB 配信(オンラインのみ)

全体参加人数：29名

市民・県民公開講座

北信がんプロ 県民公開講座
がん診療最前線
 令和5年11月3日(金) 13:30~16:00 [13:00受付開始]
 福井大学 文京キャンパス
 総合研究棟1 13階 大会議室
 〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号

次世代の**がん治療**が始まる
 参加費無料
 事前申込が必要です

【どなたでも参加できます】この公開講座は、患者さんやご家族はもちろん、一般の方もご参加いただけます。

講演内容

【司会進行・開会挨拶】
 福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター センター長 廣野 靖夫 先生

【第1】子宮頸がんも子宮体がんも増えます！
 予防から早期発見・治療まで
 福井大学医学部附属病院 産科婦人科 講師 品川 明子 先生

【第2】甲状腺腫瘍に対する内視鏡手術
 福井大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教 菅野 真史 先生

【第3】大腸がん治療の最前線
 福井大学医学部附属病院 消化器外科 助教 森川 亮洋 先生

【第4】神経腫瘍(グリオーマ)治療の最前線
 ～相手はごわい、でもあきらめない！～
 福井大学医学部附属病院 脳神経外科 助教 山内 貴寛 先生

【第5】がん治療のための栄養の話
 ～正しい知識を教えます～
 福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター長・栄養師長 廣野 靖夫 先生

参加方法

QRコード 右のQRコードから申し込みフォームにアクセスして、必要事項をご記入の上送信してください。

メールで [参加方法(参加のオンライン)「お名前(フリガナ)」「参加人数(メールアドレス)「実部」]を明記し、件名「県民公開講座申し込み」として、下記アドレスに送信してください。

gpro-fukui@ml.u-fukui.ac.jp ※全てのメールに返信はいたしません。

会場参加 定員100名 (視聴数制限なし)
 オンライン参加 (視聴数制限なし)

申し込み締切 10月30日(月)

【お問い合わせ】 福井大学医学部腫瘍病態治療学分野 〒910-1193 福井県自由郡永平町松岡下台23-3 TEL.0776-61-8857

【主催】 okushin 北信がんプロ 【共催】 福井新聞社
 【後援】 福井県、福井県医師会、福井県薬剤師会、福井県看護協会、福井県看護協会、福井県医療関係者協会、福井県がん診療推進協議会

県民公開講座「がん診療最前線」
 2023年11月3日(金) 13:30開催
 (ハイブリッド開催)

主催大学：福井大学

会場：福井大学 文京キャンパス

WEB 配信

全体参加人数： 220名



富山大学附属病院 総合がんセンター 市民公開講座

2023. 9/3 15:15-17:45
sun 14:30 開場

参加無料
会場定員400名

がんゲノム医療って何だろう?

京都大学大学院医学研究科
腫瘍病態発生学講座 教授
武藤 学 氏

がんは遺伝子(ゲノム)の異常で起きる病気です。その異常は、がん患者さんそれぞれで異なります。科学の進歩により、臨床現場においても、一度に数百の遺伝子の異常を検出できるようになりました。がんゲノム医療は、患者さんそれぞれで起きている遺伝子異常に基づいた治療を行う、精密医療のひとつです。本市民公開講座では、がんゲノム医療によって、がん医療がどのように変わるのかを解説します。

◆プロフィール
1997年富山県立医科大学を卒業後、国立がん研究センターに勤務。2007年に京都大学大学院医学研究科 腫瘍病態発生学講座 助教授に就任。2012年より京都大学大学院医学研究科 腫瘍病態発生学講座 教授に就任。現在は京都大学医学部附属病棟リニウムハイパフォーマンスセンター長、がんセンター長、がん医療推進センター長を兼任。

富山県立中央病院
腫瘍内科 部長
小川 浩平 氏

◆プロフィール
2004年富山県立中央病院に勤務。2009年富山県立中央病院腫瘍内科 部長。2019年富山県立中央病院腫瘍内科 部長。2021年〜2022年 富山県立中央病院腫瘍内科 部長。2023年〜現在 富山県立中央病院腫瘍内科 部長。2023年〜現在 富山県立中央病院腫瘍内科 部長。

こちらからお申込みいただけます。
申込専用フォーム ▶▶▶
申込締切 2023.8/28 (moon)

富山大学附属病院 検索

【主催】富山大学附属病院 総合がんセンター 【共催】 北信がんプロ
【後援】 富山県、富山県医師会、富山県薬剤師会、富山県農林部、富山県商工労働振興会、富山県がん診療連携協議会
富山県がん診療連携協議会
市民公開講座運営事務局/株式会社ジェック経営コンサルタント

お問い合わせ TEL 076-444-0035 FAX 076-444-1135 MAIL center@jeck.com

市民公開講座

「がんゲノム医療って何だろう？」

2023年9月3日(日) 15:15 開催 (対面)

主催大学：富山大学

会場：富山県民会館ホール

全体参加者数：135名

富山大学附属病院 腫瘍・胆道センター 市民公開講座

2023.11/19 13:30-15:50
富山会場 富山県民会館ホール
〒930-0006 富山県富山市新館曲輪4-18

2024.1/14 13:30-15:50
高岡会場 高岡生涯学習センター
〒939-0223 富山県高岡市法蓮寺1-1
ウィングウィング館 3階

臓臓がん・胆道がんを知ろう! 2会場開催

参加無料
会場定員400名

富山大学附属病院 腫瘍病態発生学講座 教授
安田 一朗 氏

富山大学附属病院 腫瘍病態発生学講座 教授
藤井 努 氏

近年、臓臓がんは増加傾向にあり、ここ20年で増えています。2019年の罹患患者数は4万4千人で、死亡数は2020年約3万7千人でした。最大の悪性のがんの一つであり、死亡率は男性で第4位、女性で第3位となっています。また臓臓がんの罹患患者数は2万人で死亡数は約1万人です。実は、私たちのとても身近に潜む病気になっています。

本公開講座では、「臓臓がんの危険因子は?」「どうやって発見する?」「どうやって治療する?」という点をわかりやすく解説します。日本でもっとも注目されている富山大学附属病院 腫瘍・胆道センターの、最新の診断・治療を知って頂ける良い機会になります。

◆心強い医師メンバーが分かりやすくお話しします◆

第1部 01 第三内科/安藤孝博 先生
臓臓がんって遺伝するの? どうやって防げるの?

第2部 04 第二外科/伊藤敏孝 先生
大学病院って怖いところ?

第3部 07 演者全員
パネルディスカッション
パネルディスカッション

第1部 02 第三内科/神谷直也 先生
臓臓がん・胆道がんの診断の最新技術

第2部 05 第二外科/湯谷和久 先生
大学病院ならではの「最新の治療」

第3部 08 演者全員
パネルディスカッション
パネルディスカッション

第1部 03 栄養部/吉岡浩治 先生
食事と栄養について 勉強しよう

第2部 06 第二外科/伊同伊伊 先生
最新の臓臓外科手術について

こちらからお申込みいただけます。
申込専用フォーム ▶▶▶
申込締切 2023.11/10日
富山会場、12月28日
高岡会場

富山大学附属病院 検索

【主催】富山大学附属病院 【共催】 北信がんプロ
【後援】 富山県、富山県医師会、富山県薬剤師会、富山県農林部、富山県商工労働振興会、富山県がん診療連携協議会
富山県がん診療連携協議会
市民公開講座運営事務局/株式会社ジェック経営コンサルタント

お問い合わせ TEL 076-444-0035 FAX 076-444-1135 MAIL center@jeck.com

市民公開講座

「臓臓がん・胆道がんを知ろう！」

2023年11月19日(日) 13:30 開催 (対面)

主催大学：富山大学

会場：富山県民会館ホール

全体参加者数：164名

富山大学附属病院
市民公開講座

乳がんと向き合う ライフスタイル

参加無料
会場定員 200名

2023年 Hybrid方式開催
11月26日(日)
12:30開場 / 13:00開会
会場/富山国際会議場
〒930-0084 富山県富山市大手町1-2

皆さんにとって身近ながんと言え「乳がん」。
漠然と不安を感じていませんか？
今回、市民公開講座では、乳がんの予防方法、早期発見、
治療方法、食生活、運動、心の健康など様々な側面から
お話をし、皆さんに正しい知識を得てもらいきっかけとなれ
ばと考えています。
乳がんと向き合い、乳がんになっても楽しい生活を送れる
工夫を専門家が皆さんと一緒に考えてみましょう。

講演テーマ

- 1 乳がん治療の進歩
- 2 リンパ液腫の早期発見と治療について
- 3 乳がん予防と治療における食生活のポイント
～無理のない習慣付けを目指して～
- 4 更年期症状と上手につきあおう！
Q&A
皆さんの質問にお答えします！

申込専用フォーム
2023年 11月17日(金)
FAXの方は裏面の参加申込書をご記入ください。

【主催】富山大学附属病院 総合センター(がん相談支援センター) 【共催】北信がんプロ 富山大学附属病院
市民公開講座運営事務局/株式会社ジェック経営コンサルタント
お問い合わせ TEL/076-444-0035 FAX/076-444-1135 Mail/center@jeckc.com

市民公開講座

「乳がんと向き合うライフスタイル」

2023年11月26日(日) 13:00 開催 (対面)

主催大学：富山大学

会場：富山国際会議場

全体参加者数：197名

富山大学附属病院・黒部市国際文化センター 市民公開講座

地域で支えるがん医療

参加無料
令和5年 12月2日(土)
13:00~15:00
黒部市国際文化センター
コラーレ(カーターホール)

会場定員 400名

高度ながんの標準療法が日本全国どこに住んでいても受けられる時代になりました。しかし、がん拠点病院が設置されても交通手段の無い高齢者など、まだまだ先端医療から取り残されてしまふ地域住民がいらっしゃいます。今回の市民公開講座では「地元で自分らしく暮らし、それによって拠点病院の診療を受けるにはどうすればよいのか」といったことをテーマに行います。明日は我が身の「地域で支えるがん診療」を一緒に考えてみませんか。

がんと診断された時からあなたを支える緩和ケア
黒部市長病院 緩和ケアセンター部長 佐和 和博 小科 孝一郎氏
がんと診断されたとき、納得して治療や療養に向き合えるように、正しいがん情報を集めましょう。インターネットやがん指定支援センターを利用し、緩和ケアチームが担当医や看護士などと協力しながら、がん治療と並行してあなたを支えます。

免疫チェックポイント阻害薬とは？
黒部市長病院 呼吸器内科部長 河津 由紀男氏
免疫チェックポイント阻害薬は自身の免疫に作用する薬剤で、様々ながんの治療に役立っています。がんの種類や人によっては高い効果が期待できる一方で、免疫が過剰する様々な副作用を薬にすることも併用には十分注意が必要です。

チームと地域で支えるがん診療
がんの治療は主治医だけが行うのではなく、看護師や薬剤師、それ以外にも色々な職種がチームとして関わります。このチームには黒部市だけでなく、地域の医療機関にも参加しており、その役割をお話しします。
富山大学附属病院 部長 橋本 新也氏

申込専用フォーム
2023.11/24日

【主催】富山大学附属病院 黒部市長病院 【共催】北信がんプロ
【協賛】富山県、黒部市市民会、富山県医師会、富山県薬剤師会、富山県看護協会、富山県がん診療連携協議会
市民公開講座運営事務局/株式会社ジェック経営コンサルタント
お問い合わせ TEL 076-444-0035 FAX 076-444-1135 MAIL center@jeckc.com

市民公開講座

「地域で支えるがん医療」

2023年12月2日(土) 13:30 開催 (対面)

主催大学：富山大学

会場：黒部市国際文化センター

コラーレ(カーターホール)

全体参加者数：99名

富山大学附属病院
2023年度 緩和ケア 市民公開講座

歌とギター
あなたの心のマッサージ

参加無料 定員400名
先着順 ※どなたでもご参加いただけます。

2023.12/17 (SUN) 13:00~ (開場 12:30)
in 富山県民会館ホール
富山市新緑会館4番18号

～プログラム～
第一部 Keiko & Kouji コンサート (伊藤 実知子)
「癒しのコンサート いちの和音 こころに響け」
第二部 パネルディスカッション
・Keiko
・富山大学附属病院緩和ケアセンター長/林 健二
・富山大学附属病院緩和ケアセンター長/桐原 新造

申込専用フォーム
2023.12/11日 富山大学附属病院 受付

【主催】富山大学附属病院 総合センター 【共催】北陸がん研
【後援】富山県、富山県医師会、富山県薬剤師会、富山県歯科医師会、富山県看護協会、富山県がん診療連携協議会
富山県看護協会、富山県医師会、富山県薬剤師会、富山県歯科医師会、富山県看護協会、富山県がん診療連携協議会
市民公開講座運営事務局 / 株式会社ジェック経営コンサルタント

お問い合わせ TEL 076-444-0035 FAX 076-444-1135 MAIL center@jeckc.com

市民公開講座

「歌とギターであなただの

心のマッサージ」

2023年12月17日(日) 13:00 開催(対面)

主催大学：富山大学

会場：富山県民会館ホール

全体参加者数：47名

富山大学附属病院
緩和・相違センター市民公開講座

**膵臓がん・胆道がんを
知ろう！** 2会場開催

2023.11/19日 13:30-15:50
富山会場 富山県民会館ホール
2024.1/14日 13:30-15:50
高岡会場 高岡生涯学習センター

参加無料 会場定員400名

近々、膵臓がんは増加傾向にあり、ここ20年で倍増しています。2019年の罹患患者数は約4744人で、死亡数は2020年で3377人でした。最大の脅威が胆道がんの一つであり、死亡に率が高くて増え、女性で増えています。また胆道がんの罹患患者数は2万2千人で死亡数は倍増しています。私たちにとっても身近に脅威が迫っています。
本公開講座では、「膵臓がんの発見の鍵は？」と「どうやって発見する？」「どうやって治療する？」という点をわかりやすく解説します。日本でもっとも注目されている富山大学附属病院 緩和・相違センターの、最新の膵臓・胆道を知って頂ける良い機会になると思います。

膵臓がん 緩和センター長 安田一朗氏
胆道がん 緩和センター長 藤井努氏

～心強い医師メンバーがわかりやすくお話しします～

第1部
01 第三内科/安藤孝博先生 膵臓がんで遠征するの？ どうやったら防げるの？
02 第三内科/林裕幸先生 膵臓がん・胆道がんの診断の最新技術
03 栄養部/吉田浩志先生 食事と栄養について 勉強しよう！

第2部
04 第二外科/伊藤健吾先生 大病院って怖いところ？
05 第二外科/浜谷和生先生 大病院ならではの「最新の治療」 治療や臨床研究などの「最新の治療」
06 第二外科/吉岡伊作先生 最新の膵臓外科手術について

第3部
07 演者全員 パネルディスカッション
こちらからお申込みいただけます。
申込専用フォーム

申込専用フォーム
2023.11/19日 富山会場 11時10分 ※ 高岡会場 12月28日 ※

【主催】富山大学附属病院 【共催】北陸がん研
【後援】富山県、富山県医師会、富山県薬剤師会、富山県歯科医師会、富山県看護協会、富山県がん診療連携協議会
市民公開講座運営事務局 / 株式会社ジェック経営コンサルタント

お問い合わせ TEL 076-444-0035 FAX 076-444-1135 MAIL center@jeckc.com

市民公開講座

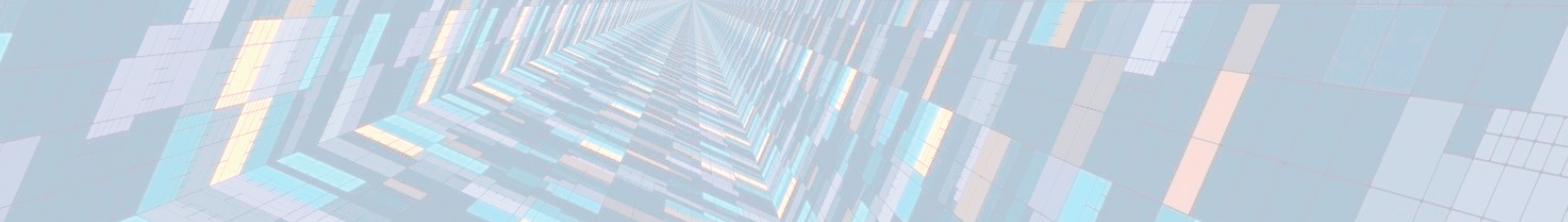
「膵臓がん・胆道がんを知ろう！」

2024年1月14日(日) 13:30 開催(対面)

主催大学：富山大学

会場：高岡生涯学習センター

全体参加者数：130名



参加料 無料

文部科学省 令和5年度大学教育再生戦略推進費
次世代のがんプロフェッショナル養成プラン採択事業

北信のシームレスながん医療を担う人材養成金沢医科大学市民公開講座

がんを知り、がん備える。

-がんの治療最前線-

プログラム

1. 開会のご挨拶・司会
安本 和生 金沢医科大学腫瘍内科学 教授、次世代北信がんプロ金沢医科大学 コーディネーター
2. 基調講演
「男性で最も多い前立腺がん：診断されたら、どうしますか？」
講師 井口 太郎 先生 金沢医科大学泌尿器科学 准教授
「肺がんが見つかったから治るまで」
講師 浦本 秀隆 先生 金沢医科大学呼吸器外科 教授
3. 特別講演
「肺がん薬物治療の進歩」
講師 山田 忠昭 先生 京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 准教授

日時 2024年3月10日(日) 全席 14:00-16:30 (開場 13:30) **会場** ホテル金沢 2階 ダイアモンドルーム 石川県金沢市堀川町1番1号

参加申し込み方法
①QRコード：申し込みフォームによるお申し込み
②FAX：(076)286-6054 下記事項を記載し、お申し込み
(記載事項)
ご氏名(フリガナ)、メールアドレス、参加人数、お住まいの地域(市町村名)、
所属(内勤 外勤がある方のみ、すべてにお答えくださいと記入してください。)
※会場では本文の発行が限られます。また、印刷がつかない場合はご来場をお控え願います。
当日も会場にて受付いたします。

お問い合わせ 金沢医科大学 学事部 大学院課 〒920-0293 石川県北信市藤野町大学1丁目1番地
E-mail d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp TEL 076-286-8314 FAX 076-286-6054

市民公開講座

「がんを知り、がん備える。」

- がんの治療最前線 -

2024年3月10日(日) 14:00 開催 (対面)

主催大学：金沢医科大学

会場：ホテル金沢

全体参加者数：60名

次世代北信がんプロ

第1回 次世代北信がんプロ合同市民公開講座
第25回 石川県がん診療連携協議会県民公開講座

次世代北信がんプロ 市民公開講座

2024. 3.20 WED・祝
13:00開場 開場 12:45

Webライブ配信とのハイブリッド開催
ホテル日航金沢・WEB

次世代北信がんプロが繋ぐこれからのがん医療

1 次世代北信がんプロの活動概要
2 ガンゲノム医療
3 患者の声を支援につなげるために
ここまで進んだがんの最新治療

1 肺がん
2 胃がん・大腸がん
3 肝がん
4 がんとの共生：緩和ケアと社会的サポート

参加 無料

QRコード

金沢大学次世代北信がんプロ事務局
〒920-8640 石川県金沢市本町13番3号
mail gpro@adm.kanazawa-u.ac.jp TEL 076-286-3986

次世代北信がんプロ

市民公開講座

第1回次世代北信がんプロ合同市民公開講座

第25回石川県がん診療連携協議会県民公開講座

2024年3月20日(水) 13:00 開催

(ハイブリッド)

会場：ホテル日航金沢・WEB 配信

主催：次世代北信がんプロ／石川県がん診療連携協議会／

金沢大学がん進展制御研究所／北國新聞社

後援：石川県／石川県医師会主催大学

全体参加者数：180名



国際シンポジウム

SANTO Project
Next Generation Hokushin Cancer Pro
WPI International Center
Cancer Research Institute Seminar
Two consecutive days

Overcoming drug resistance in lung cancer
~From single cell to bedside~
March 18, 2024 (Mon) 17:00 - 19:00
CPD Center, Kanazawa University Hospital 4th floor

Opening remarks : **Seiji Yano** (Kanazawa University)
Chair : **Shigeki Nanjo** (Kanazawa University)

1. Review of drug resistance research.
Trevar Bivona
Department of Medicine, Division of Hematology and Oncology, University of California San Francisco (UCSF)
2. Tissue architectural remodeling of lung adenocarcinoma during EGFR-targeted therapy.
Daniel Lucas Kerr
Department of Medicine, Division of Hematology and Oncology, University of California San Francisco (UCSF)
3. Antitumor activity of Exarafenib (KIN-2787), a next-generation pan-RAF inhibitor, in BRAF-alteration driven non-small cell lung cancer.
Tadashi Manabe (in person only)
Department of Medicine, Division of Hematology and Oncology, University of California San Francisco (UCSF)

Hybrid (In person and online: zoom)

Organizing :SANTO Project, Next Generation Hokushin Cancer Pro
Joint sponsorship: Nano Life Science Institute, Cancer Research Institute

第1回 2024年3月18日(月) 17:00 開催
(ハイブリッド)

主催大学：金沢大学

会場：CPD センター

全体参加者数：46名

第2回 2024年3月19日(火) 16:00 開催
(ハイブリッド)

主催大学：金沢大学

会場：ナノメインカンファレンスルーム

全体参加者数：30名



技術研修会・FD 講演会

がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会 (個別 CST)

開催日：2024年2月17(土)・18日(日)

主催大学：金沢医科大学

主催：金沢医科大学病院

共催：次世代北信がんプロ

協力：日本サイコオンコロジー学会

日本緩和医療学会



第4回 病態診断医学セミナー・次世代北信がんプロ FD 講演会

開催日：2024年2月29日(木) 17:30 開催

会場：金沢医科大学医学教育棟3階 病理診断室


主催大学：金沢医科大学

全体参加者数：15名

第4回病態診断医学セミナー・次世代北信がんプロFD講演会

2024年2月29日(木) 17:30-18:30
金沢医科大学医学教育棟3階 病理診断室

病理の視点から学ぶ； がん免疫と腫瘍内微小環境の基本から 最近の話題まで



菰原義弘 先生
熊本大学 大学院生命科学研究部
細胞病医学講座 教授


ご略歴
2000年 熊本大学 医学部 卒業
2005年 熊本大学 大学院医学研究科博士課程 修了(病理学第二)
2005年 久留米大学 先端がん治療研究センター(免疫学) 研究員
2007年 米国 ピッツバーグ大学「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム」短期留学
2011年 熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学 講師
2014年 熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学 准教授
2021年 熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学 教授(現職)

研究分野 実験病理学 人体病理学

学会活動 日本病理学会、日本癌学会、日本リンパ網内系学会、日本臨床細胞学会、マクロファージ分子細胞生物学研究会、日本臨床分子形態学会、日本肉腫学会、日本樹状細胞研究会、日本神経病理学会、日本がん免疫学会

担当 金沢医科大学 臨床病理学 山田壮亮教授 / 共催 次世代北信がんプロ
問い合わせ先 金沢医科大学 学事部 大学院課 d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp

近年、がんに対する免疫療法が多数の診療科で行われるようになり、がんに関わる医療関係者はがん免疫の理解が必要となっています。本セミナーでは病理診断時に遭遇する様々な所見(3次リンパ装置、リンパ球浸潤、PD-L1発現)に基づいて、がん免疫の基本から最新の研究までを分かりやすく紹介します。私たちが取り組んでいるマクロファージを中心としたがん微小環境の研究に関しても簡単に紹介します。



学長連絡協議会・キックオフシンポジウム

次世代北信がんプロ令和5年度学長連絡協議会・キックオフシンポジウム

2023年9月24日（日）12：00 開催

会場：ホテル日航金沢・WEB 配信

主催大学：金沢大学

全体参加者：30名

【プログラム概要】

I 学長連絡協議会

12：00～ 学長連絡協議会

II キックオフシンポジウム

13：00～ 開会挨拶 金沢大学 学長 和田隆志

13：05～ 北信がんプロの概要説明

統括コーディネーター

金沢大学附属病院呼吸器内科 教授 矢野聖二

13：25～ 各大学の取り組みについて事業責任者より説明

1. 信州大学 教授 中沢洋三

2. 富山大学 教授 林龍二

3. 福井大学 准教授 廣野靖夫

4. 金沢医科大学 特任教授 安本和生

5. 長野県看護大学 教授 柳原清子

6. 金沢大学 教授 矢野聖二

14：30～ 質疑応答

14：50～ 休憩

15：00～ 特別講演会（オンライン）

演題 「がんプロ16年の歩みと、これから」

講師 石岡千加史

東北大学病院腫瘍内科・教授

日本臨床腫瘍学会・理事長



富山大学キックオフミーティング

2024年3月1日（金）10：00 開催

主催大学：富山大学

会場：富山大学杉谷キャンパス会議室・WEB 配信

全体参加者数：18名

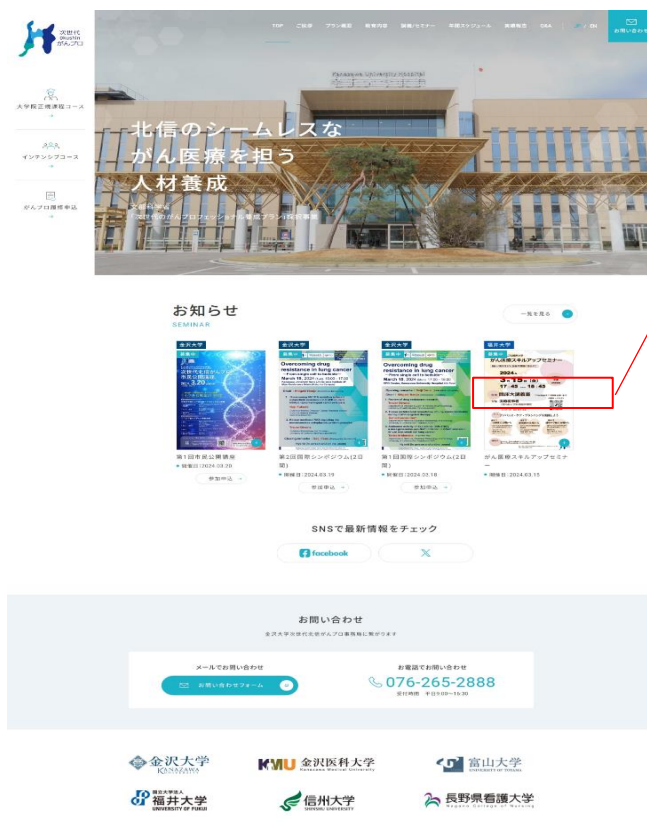
【プログラム概要】

1. 開会挨拶（林先生）
2. 学長挨拶
3. 北信がんプロ代表校：金沢大学本事業コーディネーター矢野先生からのご挨拶
4. 富山大学医学部長からの挨拶（関根先生）
5. 実施体制について
6. 事業計画について
7. 質疑応答
8. 閉会挨拶（新田先生）



3. 広報活動

次世代北信がんプロ HP 制作



【機能概要】受講者がわかりやすいセミナー告知

- 「お知らせ」欄のセミナーは開催日順に自動並び替え

3期セミナー開催の平均回数を考慮し、TOP ページのお知らせ枠は4枠に設定。

※6大学合わせて1か月平均計4回開催

- 「演習(セミナー)一覧」はセミナーの種別に自動カテゴリー分けして表示

※HP内のセミナー告知表示は参加募集中のセミナーのみ表示

- セミナー開催日終了後は、「活動報告」に自動振り分けされ、「セミナー実績一覧」で過去に開催したセミナーを一覧化。

- Google アナリティクスを取り入れ、参加者数とセミナー告知後の閲覧数を分析できるよう、潜在参加者に対しWEB告知方法を検討できる設計を行った。

紙面掲載

県民公開講座 2023年12月9日掲載

市民公開講座 2024年3月28日掲載

北信がんプロ 県民公開講座

がん診療最前線

次世代のがん治療が始まる

最新のがん治療が盛り込まれ、がん診療は進化・発展を続けています。その最前線を知ってもらうために福井大学が主催する「次世代がんプロ」の県民公開講座を、2023年12月9日、福井大学市民公開講座として開催しました。7回連続で開催する年度「次世代がんプロ」をテーマに、福井大学医学部附属病院で活躍するがんの専門医が、各自が担当するがんの最新治療について講演。会場参加者のための懇話会にも、オンライン配信で約150名が参加しました。本公開講座の開催は、福井大学ががんプロの中心となるがん診療連携協議会が主催する「次世代がんプロ」の第1回です。

本公開講座の開催は、福井大学ががんプロの中心となるがん診療連携協議会が主催する「次世代がんプロ」の第1回です。

【講演1】 次世代がん治療の最新情報

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：次世代がん治療の最新情報

【講演2】 がん治療の最新情報

講演者：森川 充洋 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演3】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演4】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演5】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演6】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演7】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演8】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演9】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演10】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演11】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演12】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演13】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演14】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演15】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演16】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演17】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演18】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演19】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

【講演20】 がん治療の最新情報

講演者：山内 真貴 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がん治療の最新情報

次世代北信がんプロ 合同市民公開講座

切れ目のない医療を支える人材を養成

【第1部】次世代北信がんプロが繋ぐこれからのがん医療

【第2部】ここまで進んだがんの最新治療

【講演1】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演2】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演3】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演4】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演5】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演6】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演7】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演8】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演9】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演10】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演11】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演12】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演13】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演14】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演15】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演16】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演17】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演18】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演19】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

【講演20】 がんゲノム医療

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんゲノム医療

市民公開講座 2024年3月25日掲載

インテンシブコース

受講者募集

2024年3月22日掲載

次世代北信がんプロ 金沢医科大学市民公開講座

がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

北信3県と長野県の6大学が連携してがん専門医の人材（がんプロ）を養成する「次世代北信がんプロ」の合同市民公開講座を開催しました。会場参加者のための懇話会にも、オンライン配信で約150名が参加しました。本公開講座の開催は、福井大学ががんプロの中心となるがん診療連携協議会が主催する「次世代がんプロ」の第1回です。

【講演1】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演2】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演3】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演4】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演5】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演6】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演7】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演8】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演9】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演10】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演11】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演12】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演13】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演14】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演15】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演16】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演17】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演18】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演19】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

【講演20】 がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

講演者：田中 浩一 (福井大学医学部附属病院 がん内科) 講演題目：がんを知り、がんに備える。がんの治療最前線

北信6大学が連携 地域のがん専門人材育成プログラム

インテンシブコース受講者募集

医療従事者やがんの知識を深めたい方向けの10コースから選べます

がん医療の現場で責任を担う人材 がん予防の推進を行う人材 新たな治療法を開発できる人材 がん研究の推進を担う人材

北信のシームレスながん医療を担う人材養成

インテンシブコース(10コース)

- 金沢大学: がん診療連携協議会連携養成コース、サイコロジコリジナシオンコース
- 信州大学: シームレス製がん予防推進 臨床推進専門医養成コース
- 富山大学: がんチーム連携推進コース、がん治療に特化したがん治療の高度化推進養成コース
- 福井大学: シームレス製がん予防推進 臨床推進専門医養成コース
- 金沢医科大学: シームレス製がん予防推進 臨床推進専門医養成コース
- 長野県看護大学: がん診療連携協議会連携養成コース

次世代北信がんプロ事務局 (2024年3月22日掲載)

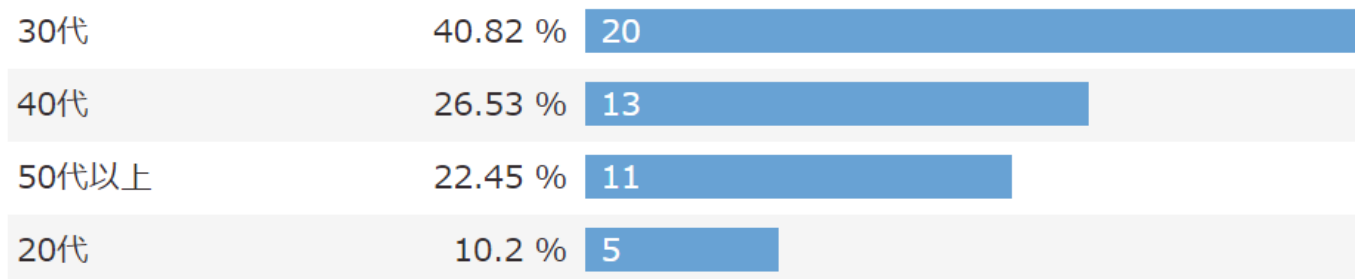
〒920-8540 石川県金沢市東町13-1 TEL:076-220-2200 FAX:076-220-1900

お問い合わせ: info@okushin-ganpro.jp

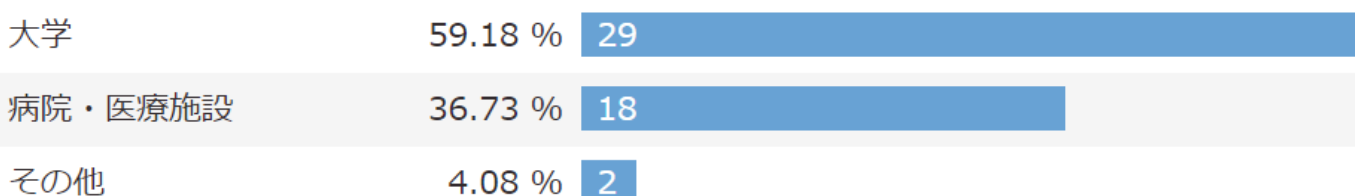
4. 参加者アンケート調査結果

オンコロジーセミナー(調査期間 2023 年 11 月 30 日~2023 年 12 月 31 日)

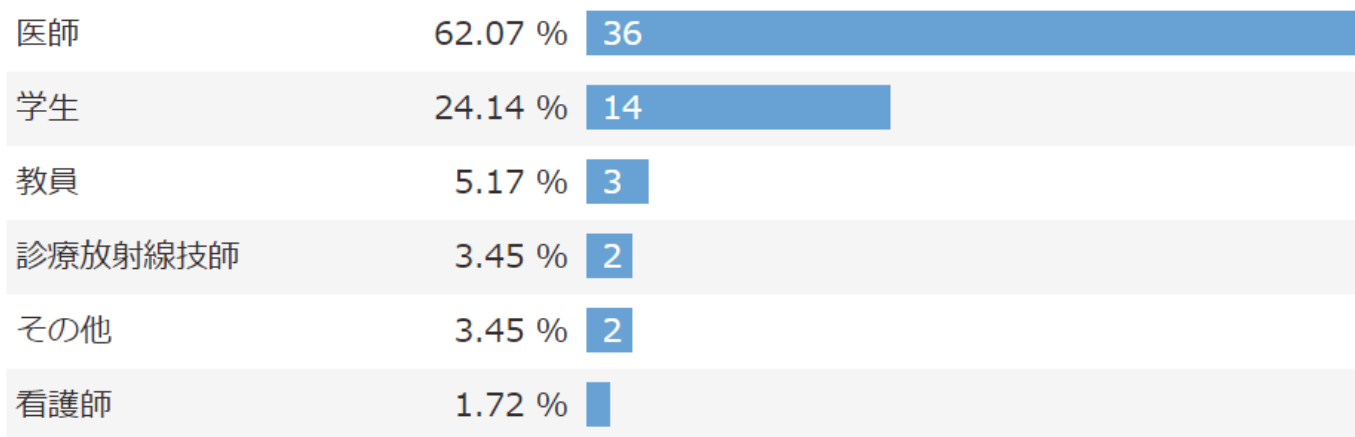
Q1. 年齢



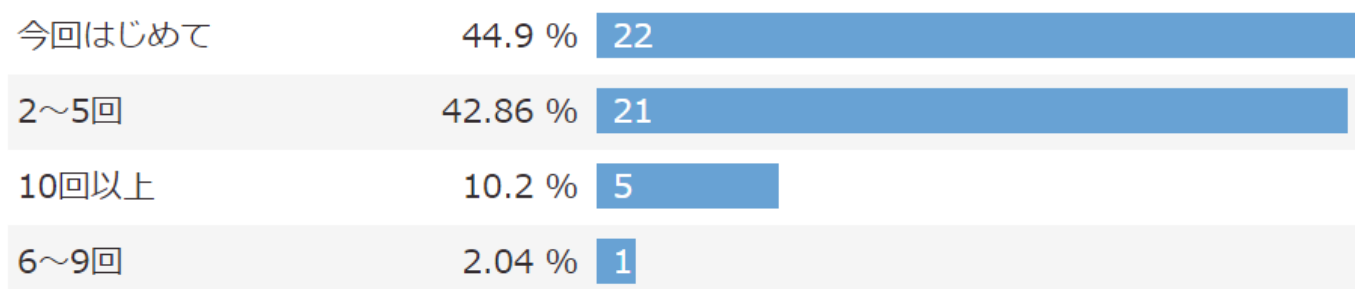
Q2. 所属



Q3. 職種

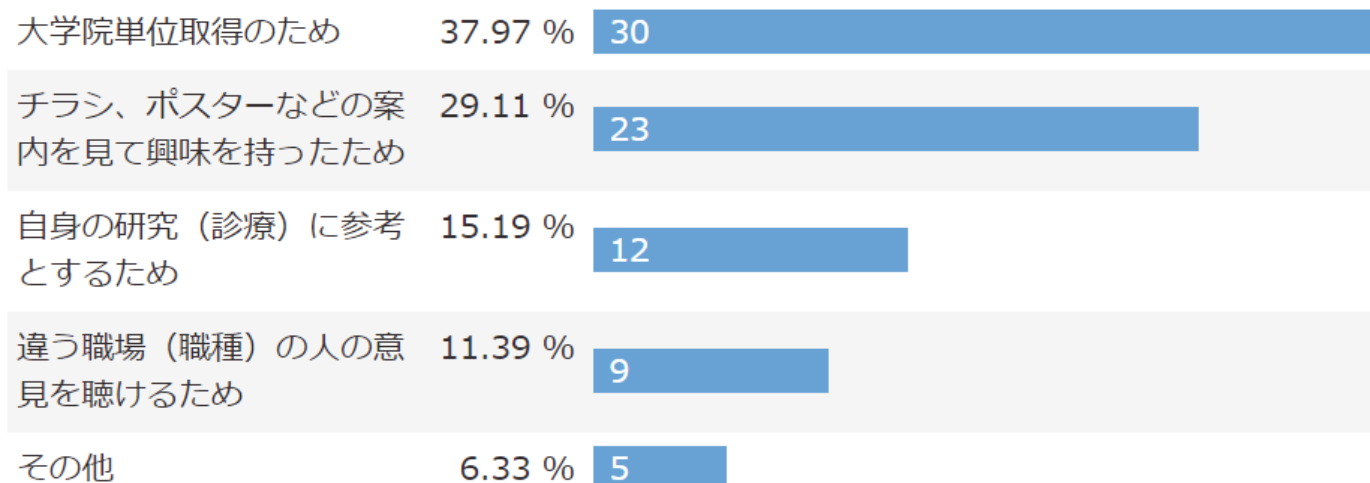


Q4. 北信がんプロ オンコロジーセミナー参加回数

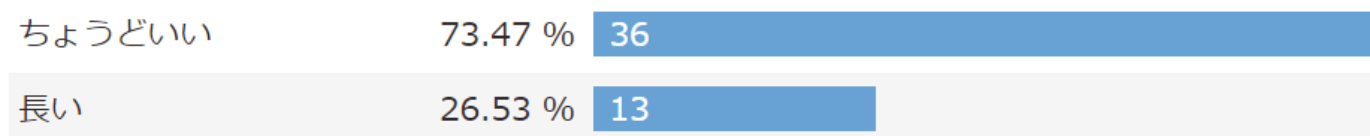


オンコロジーセミナー(調査期間 2023 年 11 月 30 日~2023 年 12 月 31 日)

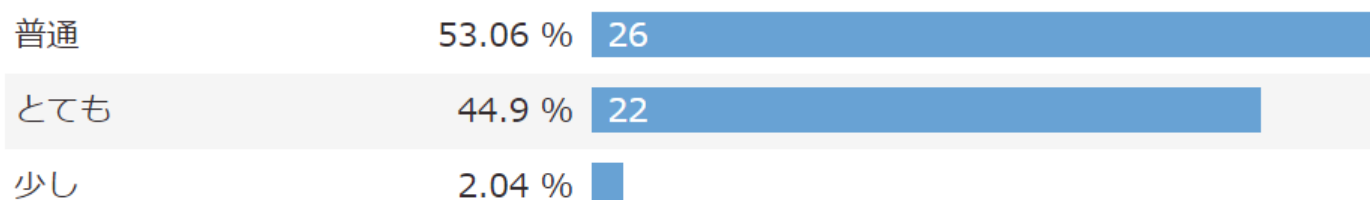
Q5. 参加動機



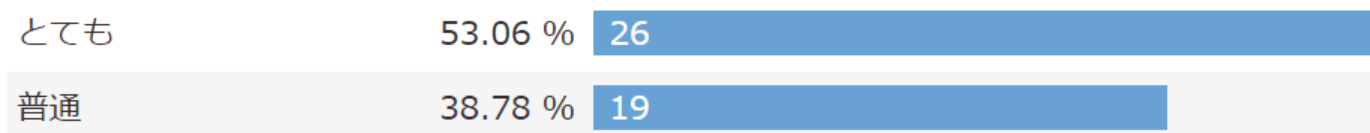
Q6. セミナーの所用時間



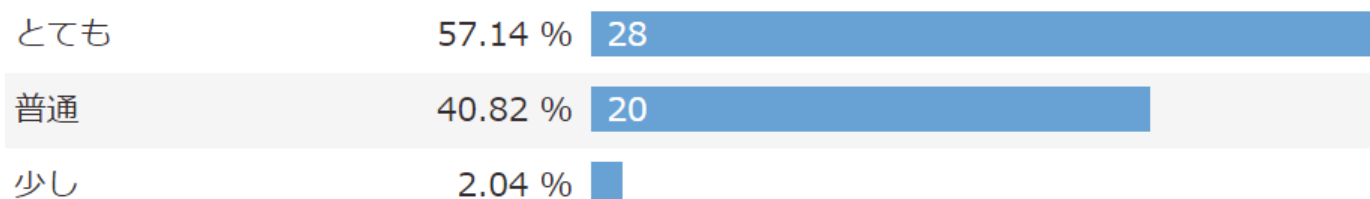
Q7. セミナー内容の適切さ



Q8. 今後の活動に役立つ内容だったか

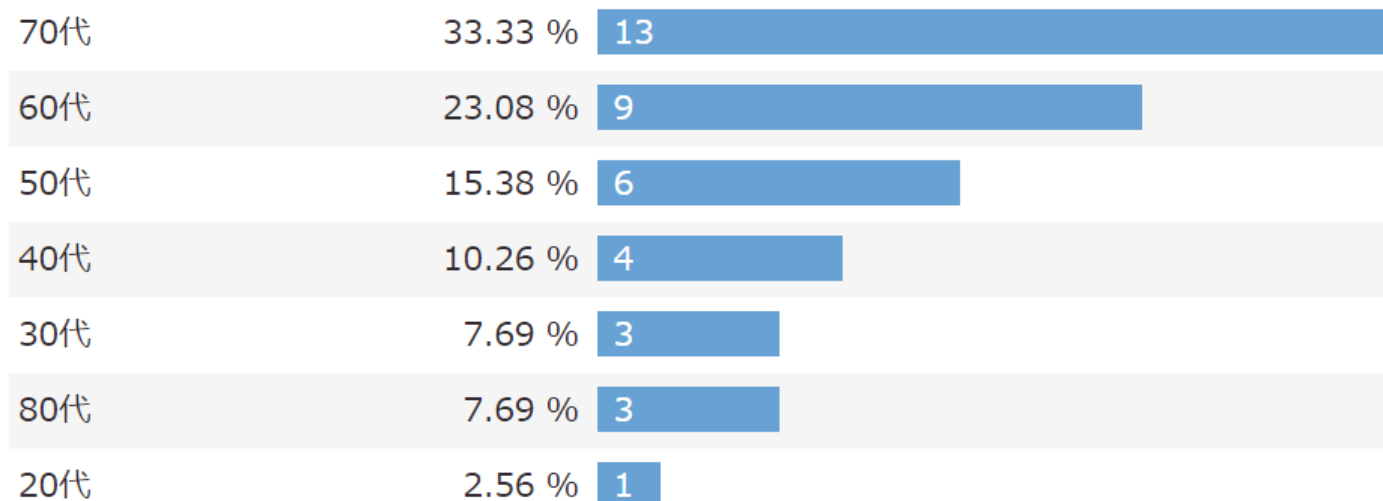


Q9. 今後の参加の意思

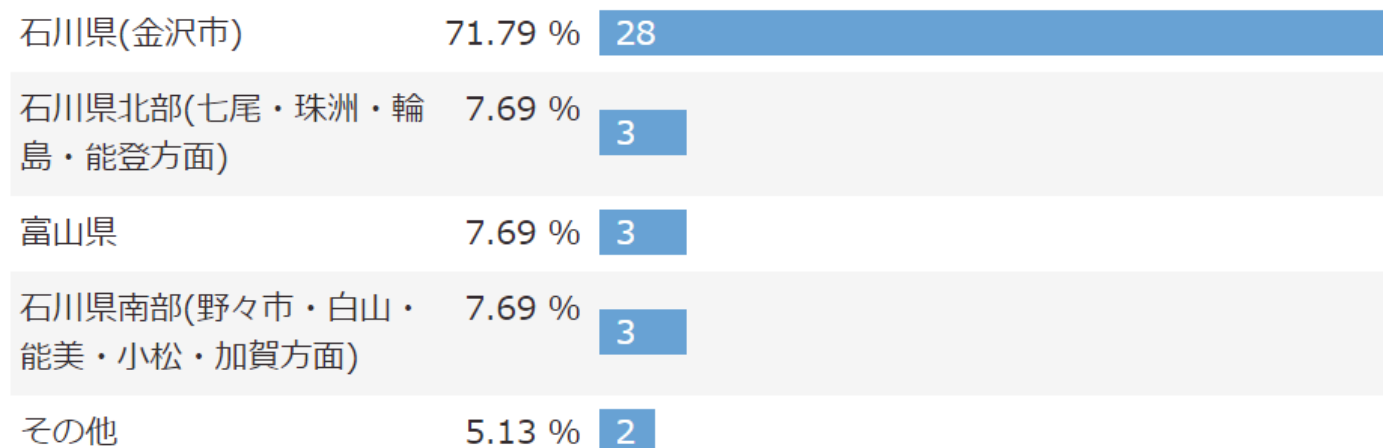


公開講座(市民・県民) (調査期間 2024年3月20日～2024年3月22日)

年齢

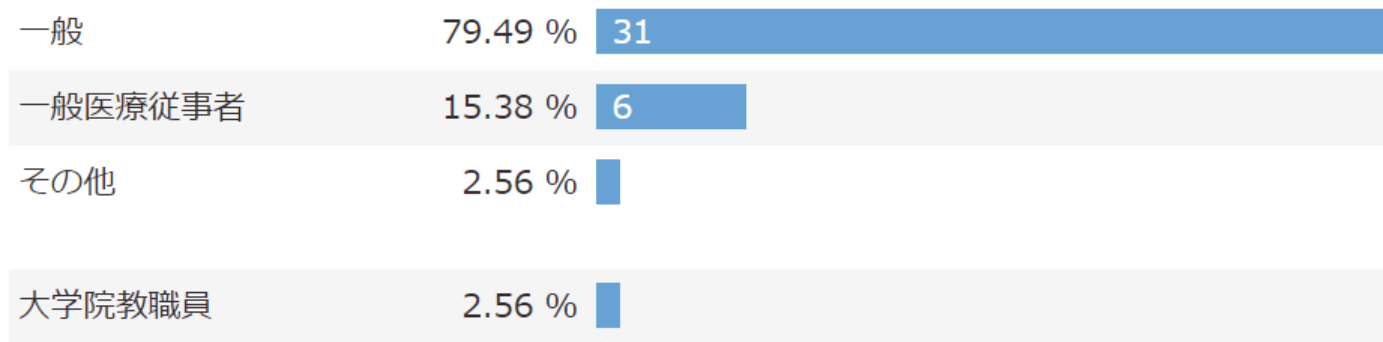


住まいの地域



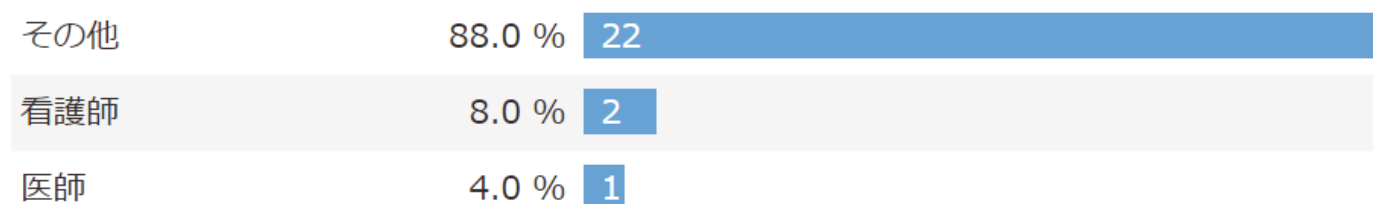
※その他：東京都・長野県

所属



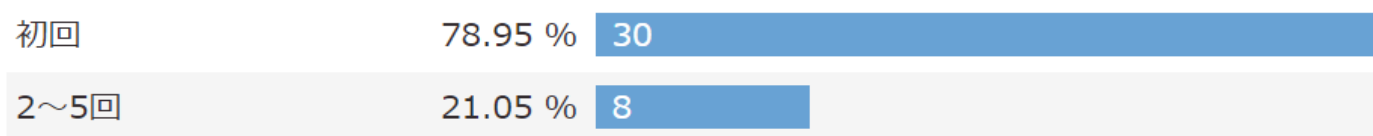
※その他：会社員

職種

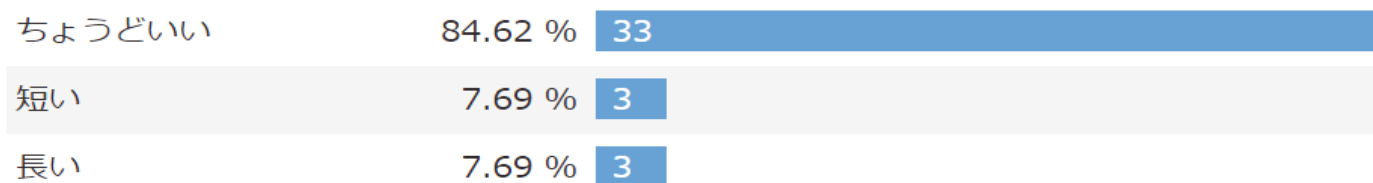


※その他：会社員

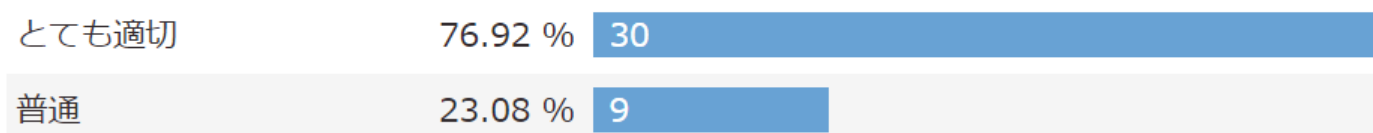
次世代北信がんプロが主催するセミナー参加の回数



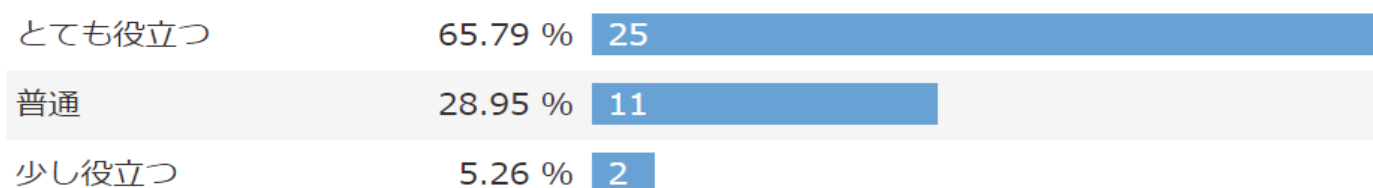
講演の所用時間



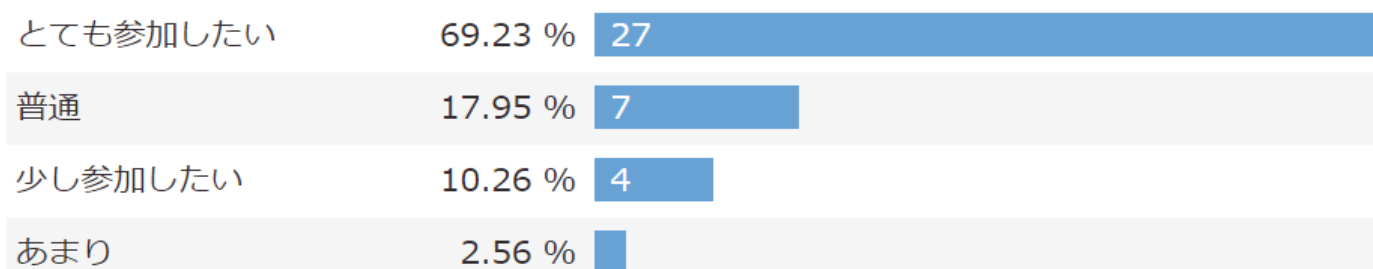
講演内容の適切さ



今後の活動に役立つか

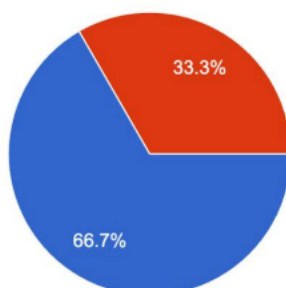


今後の参加希望



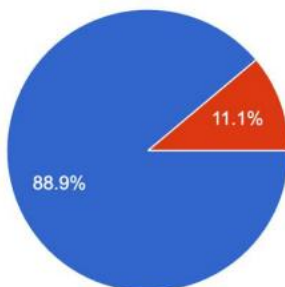
多職種協働事例検討会

1. 本日の研修内容の理解度はいかがでしたか
9件の回答



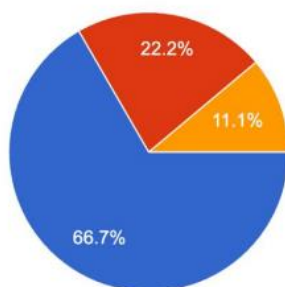
- 理解できた
- 大体理解できた
- あまり理解できなかった
- 全く理解できなかった

2. 本日の研修プログラムの満足度はいかがでしたか
9件の回答



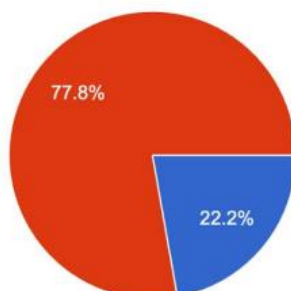
- 満足した
- 概ね満足した
- やや不満である
- 不満である

3. 本日の研修は実践で活用できそうですか
9件の回答



- 活用できる
- 大体活用できる
- あまり活用できない
- 活用できない

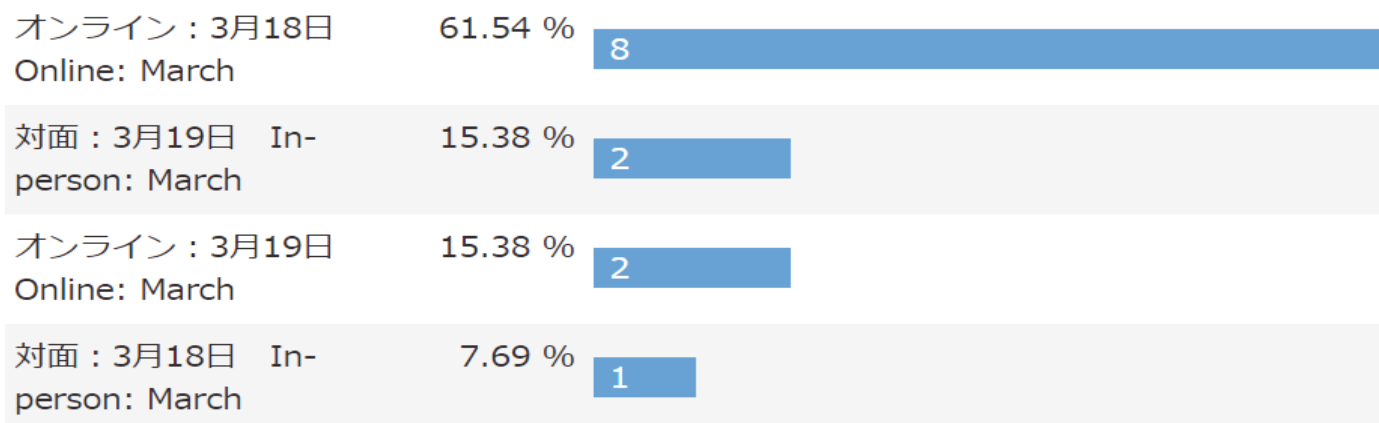
4. 時間はいかがでしたか
9件の回答



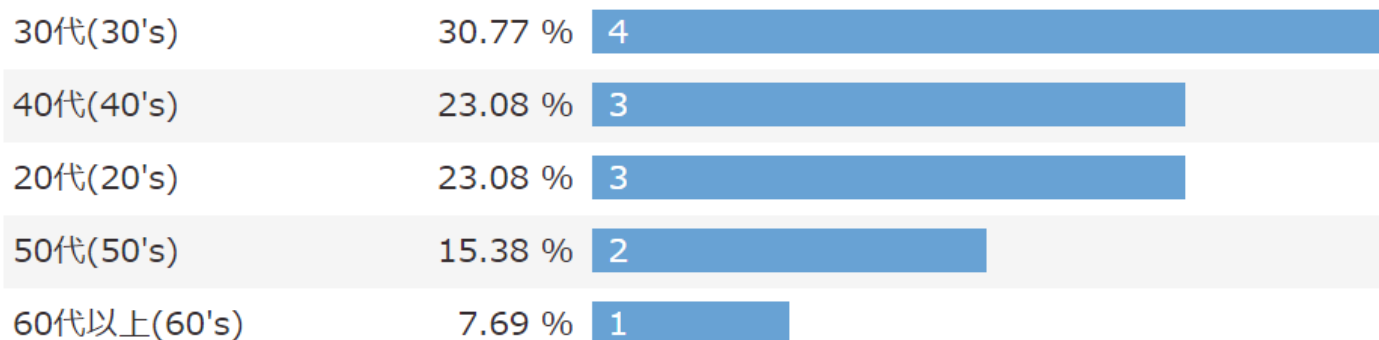
- 長い
- ちょうどよい
- 短い

国際シンポジウム(調査期間 2024年3月19日~3月22日)

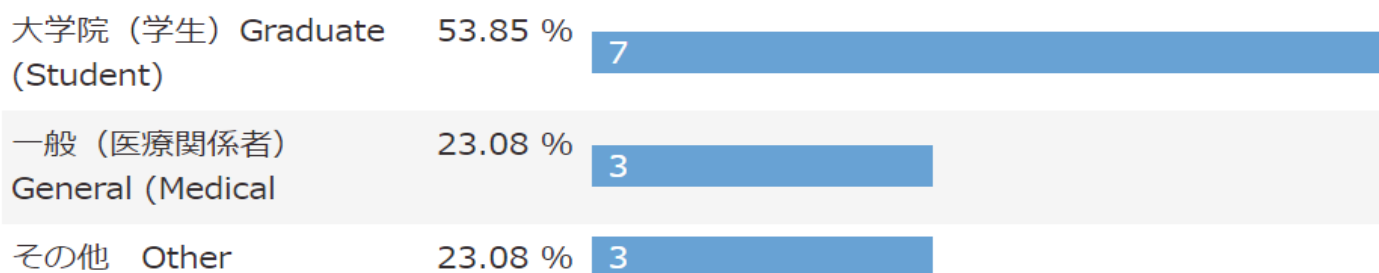
1. 参加方法



2. 年齢



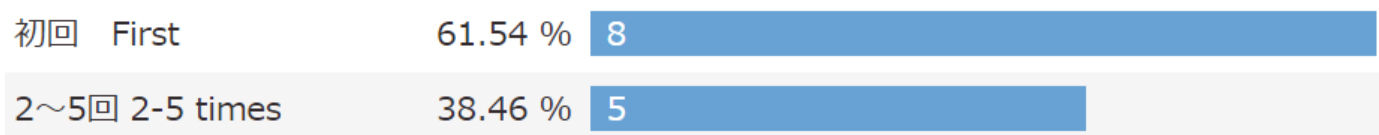
3. 所属



4. 職種

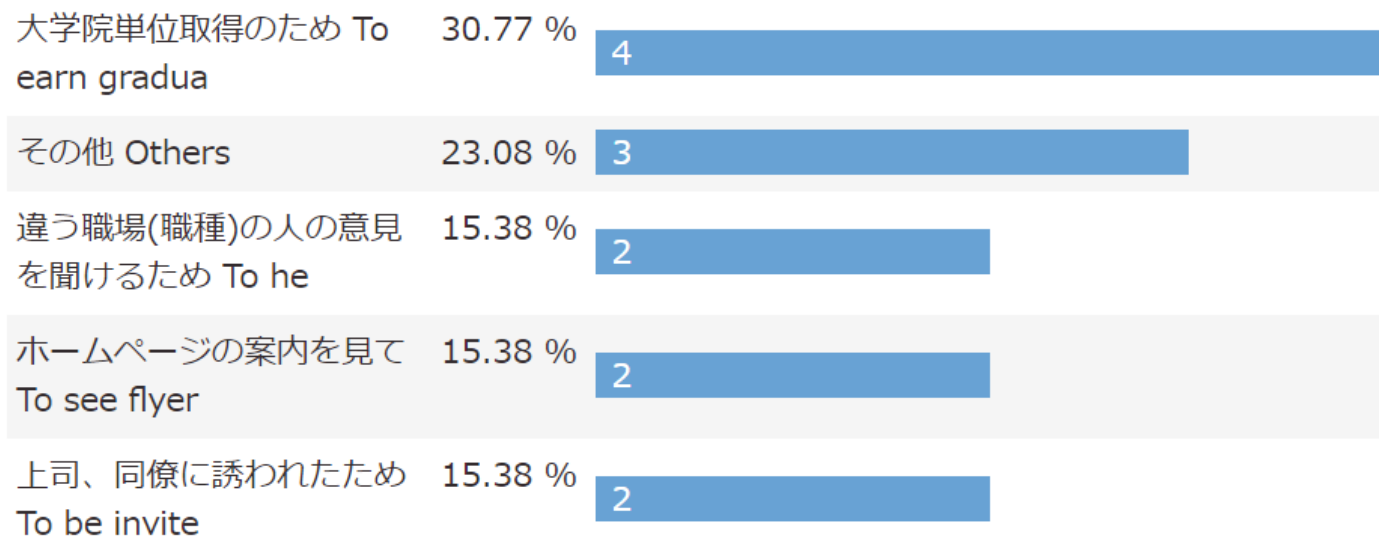


5. 次世代北信がんプロが主催するセミナーの参加回数

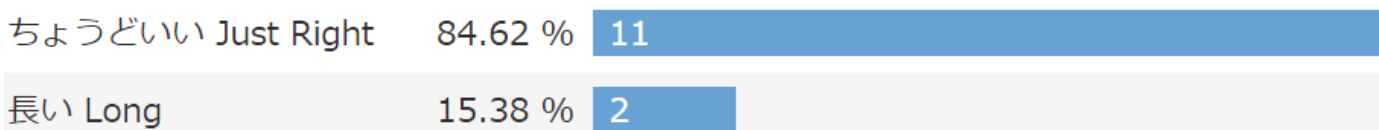


国際シンポジウム(調査期間 2024年3月19日~3月22日)

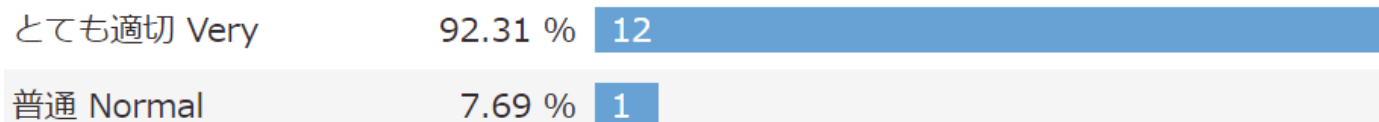
6. 参加動機



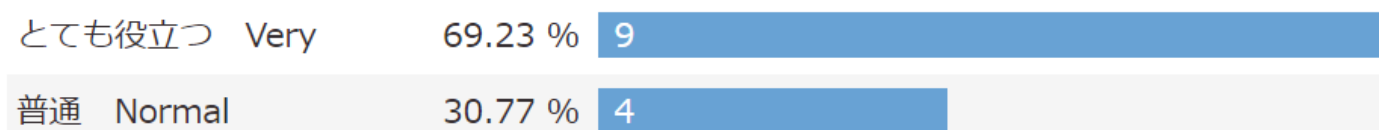
7. セミナー所要時間



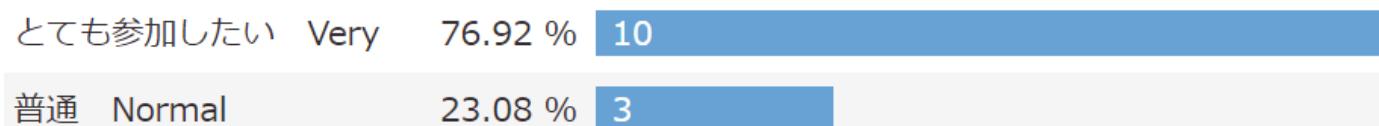
8. 講演内容の適切さ



9. 今後に役立つか



10. 今後の参加意思



第3部 外部評価

外部評価実績報告

外部評価手順

1. 外部評価委員会の各評価委員による評価

各評価委員がそれぞれ、委員個々の評価結果報告書を作成する。

- (1) 評価にあたっては、「外部評価報告（委員提出用）」を用いて、活動状況と評価、プレゼンテーション(書面)に基づき評価を行う。
- (2) 当該評価報告書は、本プログラム担当がんプロ事務局へメール等で提出し、事務局で一時お預かりした後、全ての委員からの報告が揃い次第、外部評価委員会委員長へメールにて送付・提出する。

2. 外部評価委員長による外部評価委員会評価結果（案）の作成

- (1) 各評価委員からの評価報告を受けて、委員長が外部評価委員会としての評価結果（案）を作成する。
その後、評価結果（案）を各評価委員へ送付し、評価委員は評価結果（案）を確認する。
- (2) 各評価委員は、修正意見及び質問等があれば、その旨を任意の書式により記述し、事務局へ提出する。
事務局は、意見等を整理して評価委員へ送付する。
- (3) 評価委員長は、必要に応じて修正意見を踏まえた評価結果（修正案）を作成し、各評価委員へ送付する。
委員長は、メール等で対応できない場合、審議の必要があると認めた場合は、外部評価委員会を再度開催する。

最終的に外部評価委員会としての外部評価結果を作成し、事務局へ通知する。

次世代北信がんプロ外部評価委員名簿

委員長 大阪国際がんセンター 総長

松浦 成昭

九州大学大学院医学研究院

社会環境医学講座 連携社会医学分野 教授

馬場 英司

愛知学院大学 薬学部 臨床薬学講座 教授

河原 昌美

石川県立看護大学 名誉教授

がんサロン「ロゴス」責任者

牧野 智恵

NPO 法人パンキャンジャパン 理事長

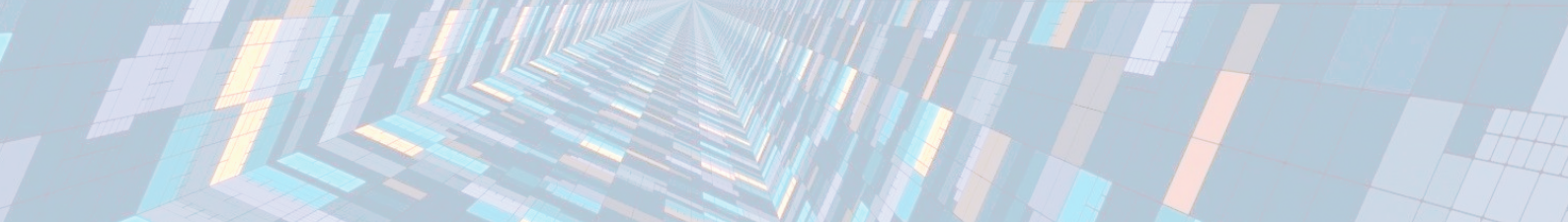
眞島 喜幸

外部評価結果（2024年3月書面にて実施）

外部評価結果（総括）

外部評価委員： 松浦成昭

【評価結果】
<p>■問題や不十分な点はない。</p> <p><input type="checkbox"/>一部問題や不十分な点がある。</p> <p><input type="checkbox"/>全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。</p>
<p>[実施状況に関するコメント]</p> <p>北信6大学がそれぞれの特徴を活かして、第4期がんプロの3つのテーマにふさわしい教育コースを設置し、人材養成を行うことで超少子高齢化の進んだこの地域のがん医療の向上への貢献が期待されます。今年度は年度途中からのスタートで、入学者がほとんどなく、実施計画、運営体制、準備状況などの評価が中心となりますが、全体として良い評価が与えられると思います。特に、多職種連携演習、研修やセミナーまた市民公開講座も各地でたくさん実施され、がんプロ事業が順調に滑り出していることをうかがわせます。</p> <p>これまでのがんプロを土台に、素晴らしい事業計画を立てて、実行可能な運営体制を作り、準備も十分に整いました。次年度から、6大学が協力して計画通りがん医療人材養成が進むことを期待したいと思います！</p>
<p>(優れた点)</p> <ul style="list-style-type: none">・学長連携協議会をトップに、次世代北信がんプロ運営協議会が主体となって、4つの委員会を設置して、全体としてよい運営体制を作っていると評価できます。・各大学が自分の強みを活かした教育コースを設定していることは優れた点です。・推進委員の所見を受けて、迅速に富山大学に腫瘍循環器コースを設置したことは評価できます。・一部のインテンシブコースは今年度の10月から開講しており、非常に早いスタートと思います。・いずれの大学もたくさんのセミナーを実施し、市民向けの講演会も多いことは評価できます。
<p>(改善を要する点)</p> <ul style="list-style-type: none">・各大学が独自に事業をやっていることが前面に出ており、6大学が交流・連携することを考慮頂きたいと思います。



・今年度、インテンシブコースの一部は開講しましたので、その実績を示して頂きたかったと思います。

・各大学がたくさんセミナーを実施していますが、がんプロ主催・共催の表記がないものが多数見られました。がんプロの教育の一環であるなら、明示して頂きたいと思います。

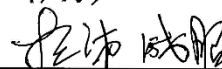
・セミナー、講演会などのアウトカムも明確にして頂きたいと思います。

・ホームページの情報発信は大切ですが、北信がんプロのHPは学生向けには良いのですが、一般市民向けには少し不十分な所があると思います。各大学のホームページはどれもわかりやすくよく出来ています。

外部評価結果（各委員の評価）

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員：



（自筆にてサインをお願いします）

【評価結果】
<p><input checked="" type="checkbox"/> 問題や不十分な点はない。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部問題や不十分な点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。</p>
<p>[実施状況に関するコメント]</p> <p>北信6大学がそれぞれの特徴を活かして、第4期がんプロの3つのテーマにふさわしい教育コースを設置し、人材養成を行うことで超少子高齢化の進んだこの地域のがん医療の向上への貢献が期待されます。今年度は年度途中からのスタートで、入学者がほとんどなく、実施計画、運営体制、準備状況などの評価が中心となりますが、全体として良い評価が与えられると思います。今後、6大学が協力して、計画通りがん医療人材養成が進むことを期待します。</p> <p>全国のがんプロ拠点の中で、北信がんプロの教育コース、養成目標人数は最も少ないので、質を高くして頂きたいと思います。文科省の設定した3つのテーマの中ではテーマ3（新規治療開発）を最も重視しており（北信がんプロのみで、ほとんどはテーマ1重視）、ゲノム医療に強い大学が多いことを反映していると思います。</p>
<p>(優れた点)</p> <ul style="list-style-type: none">・学長連携協議会をトップに、次世代北信がんプロ運営協議会が主体となって、4つの委員会を設置して、全体としてよい運営体制を作っていると評価できます。・上記のように北信がんプロはテーマ1が少ないのですが、推進委員の所見を受けて、迅速に富山大学に腫瘍循環器コースを設置したのはすばらしいと思います。・一部のインテンシブコースは今年度の10月から開講しており、非常に早いスタートで、他拠点に先駆けていると思います。・多職種連携演習であるオンコロジーセミナーを3回、IPW緩和ケア事例検討会を4回と活発にしておられて、参加者も多数を確保しているのは敬意を表します。がんプロ履修者もかなりいるようで、教育効果もあると思います。・いずれの大学もたくさんのセミナーを実施し、市民向けの講演会も多いことは評価できます。私もいくつかウェブ参加させて頂きました。金沢大学の国際シンポジウムはハイレベルのものでした。

- ・第3期がんプロで信州大学は認定遺伝カウンセラーの養成に実績を残しましたが、引き続き第4期がんプロでも人材養成を期待します。
- ・相対的に看護師の養成が少ないのですが、長野県看護大学が新たに加わり、活発な活動しており、期待したいと思います。

(改善を要する点)

- ・せっかく特徴を持った6大学が参加しているので、互いに交流・連携することを考慮頂きたいと思います。
- ・今年度、インテンシブコースの一部は開講しましたので、その実績を示して頂きたかったと思います。資料で明示されていたのは福井大学のシームレス型緩和医療コース、栄養管理コースがそれぞれ2名の実績があったことだけです。金沢大学、富山大学、信州大学は受講者はあったのでしょうか？長野県看護大学はIPW緩和ケアコース多職種協働事例検討会に多数の参加者があったことはわかりますが、この中でインテンシブコースとして単位を取得しようという人は何人か示して頂きたかったと思います。
- ・各大学がたくさんセミナーを実施していますが、がんプロ主催・共催でないものが多数見られます。例えば、金沢がん哲学外来オンライン講演会(金沢大)、福井大学公開講座「いのちのこと」、第4回福井大学地域がん医療研修会(福井大学だけPDFファイルのため、下の方が重なっていて読めないのも書いてあるのかもしれませんが)、小児・AYA世代がん患者交流会(信州大)、長野がん看護/家族看護研究会はがんプロの文字は見られず、参加者はがんプロ事業の一環で実施されていることがわからないと思います。また、名前を入れたらよいというものでもなく、多少なりともがんプロ教育を意識したプレゼンや運営をお願いいたします。
- ・3/20回債の次世代北信がんプロ市民公開講座の視聴を申し込みましたが、ウェブ参加の連絡がなく、当日のメールで対応いただきありがたかったのですが、一般市民から参加希望があった時は、丁寧に応えて頂きたいと思います。
- ・ホームページの情報発信は大切ですが、北信がんプロのHPは少し不十分と思います。がんプロ学生向けのコースの説明や受講のしかた、Eラーニングなどはわかりやすくいいのですが、一般市民向けの発信が弱いと思います。特に、セミナー、市民公開講座などのアナウンスは非常にpoorであり、「売り物」のオンコロジーセミナーも示されていません(長野県看護大学の事例検討会だけ)。第3期がんプロまでの北信がんプロホームページはよくできていたので、市民向けの情報発信もがんばって下さい。それに比べて各大学のホームページはどれもわかりやすくよく出来ています。

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員： 馬場英司

（自筆にてサインをお願いします）

【評価結果】
<p><input checked="" type="checkbox"/> 問題や不十分な点はない。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部問題や不十分な点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。</p>
<p>[実施状況に関するコメント]</p> <p>・北信がんプロ事業を実施する体制として、参加6大学の学長連携協議会が設置されていることで、今後、医歯薬系だけでなく広い分野との共同した教育体制が可能となると思われます。また運営協議会に医師会、自治体、患者会からの参加があることは、本がんプロ事業の活動の幅を広げて行くことに貢献できます。さらに事業運営にあたって、運営協議会の下部組織として教務、セミナー、データベース委員会が設置されており、それぞれの分野を管理していることから、より充実した事業運営が期待できます。委員会からのご指摘もありましたように、これらの仕組みが効率よく機能して、本がんプロ事業の向上に働いている具体的な内容を今後お示し下さい。</p> <p>・金沢大学など複数のコースが設置されているのに対し、コース数が比較的少ない大学もあります。地域による大学院入学者数自体の多寡もあるかと思われますので、本がんプロ事業の実施にあたり、代表の金沢大学から参加大学へどのような協力が可能かの検討が望まれます。</p> <p>・令和5年度は各大学とも新たながんプロプログラムの構築に取り組みされており、来年度からの新規履修生を迎えた教育の開始による成果が期待されます。</p>
<p>(優れた点)</p> <p>・金沢大学は特に7つの大学院正規課程コース、3つのインテンシブコースを設置し、次世代のがんプログラムの求める人材養成に向けて成果が期待されます。</p> <p>・富山大学では、循環器内科との共同で腫瘍循環器分野の専門家を育成するというコースを設置しており、目的が明確で期待できます。このコースが輩出する人材が今後どのようなキャリアを積んでゆけるかのビジョンも含めて提示頂ければありがたいです。</p> <p>・福井大学の統合型がん医療専門医コースは、その名が示すようにGeneralな臨床腫瘍の専門家の育成が期待されます。ただこの基盤となるのは放射線治療専門家でしょうか。また履修生の募集のための方策をより明確にお示し頂ければと思います。</p> <p>・金沢医科大学の次世代北信がんデータベース事業は、大学以外の拠点病院22施設も含んだ院内がん登録データとレセプト情報を収集する貴重な事業と思われます。研究の規模が大きいため、これががんプロ事業単独として実施されているのか、がんプロ履修生がこの事業にどのように関与して成果を上げているかも今後お示し下さい。</p> <p>・いずれの大学もセミナー、講習会、市民公開講座を積極的に開催して、履修生の交流や情報発信に努めています。</p>
<p>(改善を要する点)</p> <p>上段の中に記載しました。</p>

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員： 河原昌美

（自筆にてサインをお願いします）

【評価結果】
<input type="checkbox"/> 問題や不十分な点はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部問題や不十分な点がある。 <input type="checkbox"/> 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。
[実施状況に関するコメント] 事業初年度であり、大学院の入学確保や事業成果が見えない中で、積極的に講演会や研修会を企画運営しており、計画への意欲が感じられる。一方、大学院正規コースやインテンシブコースの入学確保に対して、十分なメリットを発信しきれていない可能性が考えられる。「次世代のがんプロフェッショナル養成」の目指すところを、さらに強力に発信していくとともに、6大学連携の強化を図ることで、それを利点として魅力的な事業への発展を期待する。
（優れた点） 金沢大学：多方面にわたる講演会・シンポジウムの開始、やデジタルツールを用いた効率的な運営による連携強化の取り組みを開始 富山大学：市民公開講座を5回開催し、がん医療に関する啓発活動を積極的に実施 福井大学：緩和医療と栄養管理に特化して他職種連携を推進する体制整備 金沢医科大学：コミュニケーション技術研修会の開催とデータベース計画 信州大学：第3期事業から継続して、小児・AYA世代に焦点を当てた遺伝子的観点からの専門人材育成の取り組み 長野看護大学：魅力あるテーマの研修を積極的に開催し、研修の場を提供
（改善を要する点） <ul style="list-style-type: none">・各大学が独自に北信がんプロ事業の取り組みを計画しているため連携性が捉えにくい。・人材育成が重要な事業の一つであるが、どのような大学院入学者を想定し、どのように募集するのか見えにくい。入学のメリットが見えるような啓発活動や、第3期までの修了者の活躍が見えるような取り組みがあるとよい。・医師・歯科医師対象プログラムで、歯科医師に対する育成目標や確保が不足している。・講演会、研修会、シンポジウムを多く企画しているが、それによって期待されるアウトカムが明確でない。・一部の講演会や研修会等の案内で、「北信がんプロ共催」が記載されていないものがある。

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員： 牧野 智恵

（自筆にてサインをお願いします）

<p>【評価結果】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 問題や不十分な点はない。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部問題や不十分な点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。</p>
<p>【実施状況に関するコメント】</p> <p>(1) 今年度7月から99職種連携演習がスタートしているとのこと。そのスタートは早いらしいと思う。40V. 99職種が11月からの様子も2. 22小は、かなり早くスタートする。かなりいい連携演習ができたの2. 22小は、今回の報告内容では、99職種の内容的なわかりにくさ、知りたかった。特に新しく加えた長野県看護大学の事例検討会の中で他職種とのような連携がはかされたの2. 22小は？</p> <p>(2)</p>
<p>（優れた点）</p> <p>(1) 7月からスタートした事業で、この子の連携力が良い方向に伸びている。</p> <p>(2) 早稲大学の大学の強みとわかるところを伸ばし、構想だと思ふ。</p> <p>1. がん医療、遺伝カウンセリング、AYA 就労、高齢者、在宅緩和ケア、がん患者の家族へのケアなど、おもしろい。今のがん医療に必要の内容で、このプロジェクトで達成される成果を期待していると思ふ。</p> <p>(2) 学長連携協議会の開催を企画していることを期待する。</p>
<p>（改善を要する点）</p> <p>(1). 長野県看護大学の「連携プロジェクト」が、4月より毎月開催されること。4月より7月までの間は、事業とは関係のある様子を思ふことが、その後の改善の表示が、様子は、</p> <p>(2) 今年は初年度としたこと、8月以降は、11月以降になること、22小は、8月以降からスタートし、中間報告会なども5月、後半に値（22小）をより思ふ。</p>

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員： 眞島喜幸

【評価結果】
<input type="checkbox"/> 問題や不十分な点はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部問題や不十分な点がある。 <input type="checkbox"/> 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。
【実施状況に関するコメント】 次世代北信がんプロ活動状況報告： 6大学が教育コース（正規課程14、インテンシブ10）を新設し、がん予防、病理診断、放射線・核医学治療、在宅緩和ケアと小児・AYA 世代がん経験者を支援する人材、さらに、新規免疫療法開発や個別化医療に必要なゲノム創薬・副作用対策を担う人材を（受入れ目標162名+319名）養成するとしている。また、多職種の地域内の連携のための演習、e-Learningを推進するとしている。 推進委員会からのコメント： 優れた点、改善を要する点が明示されており、事業運営体制のガバナンスとPCDAサイクルの実施が望まれている。
（優れた点） 金沢大学： テーマ①に対して4本、テーマ②に関して4本、テーマ③に関しては3本のコースを計画しており、受入目標を（R6は29名）とした点は期待できる。シンポジウム、オンコロジーセミナー、講演会、市民公開講座などをオンラインで配信し、GoogleAnalyticsを用いてアクセス解析している点は評価できる。 信州大学： 新たにテーマ②と③に関する修士・博士課程コースを設置する点は期待できる。特に受入れ目標10名とし、体内・体外遺伝子治療の開発をシーズからFIH治療まで進めることができる点、さらに知財化、ベンチャー起業にまで精通した人材を育成する点の評価できるし、米国ペイラー医科大学との人材交流にも期待したい。 富山大学： 正規課程コースのなかにテーマ③の新規がん治療薬開発の研究者養成コースを新設し高度薬剤師5名を養成する計画は期待できる。市民教育・啓発事業にQRコードを導入している点は評価できる。 福井大学： 正規課程コース1本は来年度から募集で目標医師10名。多職種向けインテンシブコースの2本は実績をあげており、目標数62名と積極的な点は評価できる。県民公開講座をハイブリッドで開催しており、YouTubeも活用している点は評価できる。 金沢医科大学： 正規課程コース1本目標5名、インテンシブコース1本目標5名を計画しており、また、北信がんデータベース事業は教育プログラムの目標と地域毎の効果測定に活用できるよう整備されることに期待したい。

長野県看護大学：60名以上が参加するがん看護アドバンス研修、多職種を招いた事例検討会、がん看護/家族看護の研究会なども計画しており期待できる。

(改善を要する点)

・6大学のオンラインを使用したシームレスなネットワーク化を通し、より費用対効果を高いがんプロ事業の実施、運営、進行管理ができる体制を構築していくこと。特に、教育プログラム開発の効率化などの観点からDX/AI化を推進し、迅速化、省力化、低コスト化などの点で成果をあげることに期待したい。

・修了者が北信がんプロ認定機構より認定医、認定薬剤師に認定されるためにMostEffectiveな教育コースについて、受講者による評価があるとよい。受講者による評価をベースにPDCAを回し、コースの改善を進めることに期待したい。特にポピュラーな正規課程・インテンシブコースにランキングをつけて将来の受講者に対して公表してもよい。

・将来的には北信がんプロ養成プログラムのデータベース事業をベースとして、チーム医療、シームレスながん医療、地域内病診連携、在宅医療の充実、さらに北信がんプロの修了者・認定医・認定薬剤師などがケアする地域のがん患者のアウトカム(ePROを含む)、さらに高齢者機能評価指標(GA値)、健康寿命がどう変わってきているのかなどを考えるシンポジウムがあると良い。そのなかで、地域のがん医療の現状とがん患者のアウトカムなどについて、がんプロ関係者がディスカッションする機会をつくることができると良い。

・希少がんのような罹患者数が少ない疾患領域では、各施設間のネットワーク活用によるカンサーボードと共に、欧州のEURACANにみられるような「希少がん拠点病院」と各施設とがハブとスポークモデルで結ばれ、迅速に個別症例に対応できるシステムの構築も検討いただきたい。

(患者・家族・市民のための教育プログラムに関する要望)

・がん患者の声を吸い上げて、必要とされている情報を社会へ積極的に発信してほしい。

・ゲノム医療の入り口(がん遺伝子パネル検査、コンパニオン診断など)と出口(遺伝子変異にマッチした治療法、遺伝カウンセリングなど)に関する情報を積極的に発信していただきたい。

・市民公開講座やセミナーが各地域で複数回開催されている点は評価できるが、一部の大学のようにDX/YouTubeなどを活用し、広く他の地域の方も視聴できるような工夫があると良い。

・がん患者と家族のメディカルリタレシーとコミュニケーション能力向上に向けた教育プログラムも大切なので、Shared Decision Makingを視野に入れた取り組みも促進していただきたい。

〈各大学事務担当〉



金沢大学
医薬保健系事務部 学生課 (次世代北信がんプロ事務局)

〒920-8640 石川県金沢市宝町13番1号
e-mail : gpro@adm.kanazawa-u.ac.jp



信州大学
医学部 大学院係

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
e-mail : mgaku_gp@shinshu-u.ac.jp



富山大学
杉谷キャンパス学務課

〒930-0194 富山県富山市杉谷2630番地
e-mail : mpin@adm.u-toyama.ac.jp



福井大学
医学系部門腫瘍病態治療学分野

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23番3号
e-mail : gpro-fukui@ml.u-fukui.ac.jp



金沢医科大学
学事部 大学院課

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地
e-mail : d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp



長野県看護大学
大学院 学生課

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694
e-mail : kyana@nagano-nurs.ac.jp



次世代
Okushin
がんプロ 次世代北信がんプロ

<https://www.gan-pro.net/>